平成２７年度

障がい者居住支援拠点施設建設建築本体工事

設　計　図

図面リスト

図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
	■障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事							
	１）意 匠 図						２）構 造 図	
AA-01	図面リスト	――	AA-31	展開図（３）	A1：S=1/50 A3：S=1/100	AC-01	構造関係共通事項	――
AA-02	建築工事特記仕様書（１）	――	AA-32	展開図（４）	A1：S=1/50 A3：S=1/100	AC-02	構造関係仕様（鉄骨造）	――
AA-03	建築工事特記仕様書（２）	――	AA-33	展開図（５）	A1：S=1/50 A3：S=1/100	AC-03	ジャストベース（JE１型）柱脚工法標準図	――
AA-04	建築工事特記仕様書（３）	――	AA-34	展開図（６）	A1：S=1/50 A3：S=1/100	AC-04	ＱＬデッキ合成スラブ設計・施工標準図	――
AA-05	建築工事特記仕様書（４）	――	AA-35	展開図（７）	A1：S=1/50 A3：S=1/100	AC-05	ボーリング調査位置図、ボーリング柱状図	A1：S=1/100､150 A3：S=1/200､300
AA-06	付近見取図、配置図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	AA-36	展開図（８）	A1：S=1/50 A3：S=1/100	AC-06	杭・基礎伏図、１階床版・基礎梁伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200
AA-07	仕上表（１）	――	AA-37	展開図（９）	A1：S=1/50 A3：S=1/100	AC-07	２階梁伏図･小屋伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200
AA-08	仕上表（２）	――	AA-38	展開図（１０）	A1：S=1/50 A3：S=1/100	AC-08	飾り三角屋根伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200
AA-09	建物面積求積図、面積算定表	A1：S=1/100 A3：S=1/200	AA-39	展開図（１１）	A1：S=1/50 A3：S=1/100	AC-09	軸組図（１）	A1：S=1/100 A3：S=1/200
AA-10	１階、２階平面図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	AA-40	法規チェック平面図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	AC-10	軸組図（２）	A1：S=1/100 A3：S=1/200
AA-11	立面図（１）	A1：S=1/100 A3：S=1/200	AA-41	１階、２階ＬＤＫシステムキッチン詳細図	A1：S=1/20 A3：S=1/40	AC-11	軸組図（３）	A1：S=1/100 A3：S=1/200
AA-12	立面図（２）	A1：S=1/100 A3：S=1/200	AA-42	１階多目的室アイランド型キッチン詳細図	A1：S=1/20 A3：S=1/40	AC-12	基礎リスト･基礎大梁リスト	A1：S=1/100 A3：S=1/200
AA-13	１階、２階天井伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	AA-43	１階ＵＢ詳細図	A1：S=1/15､30､3 A3：S=1/30､60､6	AC-13	基礎小梁リスト･スラブリスト	A1：S=1/100 A3：S=1/200
AA-14	屋根伏図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	AA-44	２階ＵＢ詳細図	A1：S=1/15､30､3 A3：S=1/30､60､6	AC-14	鉄骨部材リスト、大梁継手リスト ベースプレートリスト、鉄骨各部取付詳細図	A1：S=1/100 A3：S=1/200
AA-15	１階平面詳細図（１）	A1：S=1/40 A3：S=1/80	AA-45	エレベーター詳細図（１）	A1：S=1/30 A3：S=1/60	AC-15	構造詳細図（１）	A1：S=1/20 A3：S=1/40
AA-16	１階平面詳細図（２）	A1：S=1/20､40 A3：S=1/40､80	AA-46	エレベーター詳細図（２）	A1：S=1/30､50 A3：S=1/60､100	AC-16	構造詳細図（２）	A1：S=1/20 A3：S=1/40
AA-17	２階平面詳細図（１）	A1：S=1/40 A3：S=1/80	AA-47	エレベーター詳細図（３）	A1：S=1/10 A3：S=1/20	AC-17	構造詳細図（３）	A1：S=1/20 A3：S=1/40
AA-18	２階平面詳細図（２）	A1：S=1/40 A3：S=1/80	AA-48	外構平面図	A1：S=1/100 A3：S=1/200	AC-18	各部雑配筋詳細図	A1：S=1/30 A3：S=1/60
AA-19	矩計詳細図（１）	A1：S=1/10､20 A3：S=1/20､40	AA-49	外構詳細図（１）	A1：S=1/20､30 A3：S=1/40､60			
AA-20	矩計詳細図（２）､下屋桁行断面詳細図	A1：S=1/10､20 A3：S=1/20､40	AA-50	外構詳細図（２）	A1：S=1/30 A3：S=1/60			
AA-21	矩計詳細図（３）	A1：S=1/20 A3：S=1/40	AA-51	仮設計画図	A1：S=1/100 A3：S=1/200			
AA-22	内部階段　平面、断面詳細図 誘導案内　取付位置図	A1：S=1/20､40 A3：S=1/40､80						
AA-23	Ｂ通⑥－⑦間 外部階段 平面詳細図、断面詳細図	A1：S=1/20､40 A3：S=1/40､80						
AA-24	雑詳細図	A1：S=1/20 A3：S=1/40						
AA-25	建具配置図	A1：S=1/50 A3：S=1/100						
AA-26	建具表（１）	A1：S=1/50 A3：S=1/100						
AA-27	建具表（２）	A1：S=1/50 A3：S=1/100						
AA-28	建具表（３）	A1：S=1/50 A3：S=1/100						
AA-29	展開図（１）	A1：S=1/50 A3：S=1/100						
AA-30	展開図（２）	A1：S=1/50 A3：S=1/100						

〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337　FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所
新潟県知事　登録（　）第197号
一級建築士
大臣登録　第151507号　安 達 俊 明

設計	検図	承諾	設計年月日	図面サイズ	縮尺	工事名称	種別	図面番号
本間	丸山	安達	平成２７年０３月	Ａ１	－	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	AA	01
				Ａ３	－	図面名称 図面リスト		

障がい者居住支援拠点施設建設
建築本体工事　設計図

平成　27年　3月（全　69 枚）

仕　様　書

Ⅰ　共通仕様

1. 本共通仕様及び特記仕様に記載されてない事項は、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成25年版」（以下「標仕」という。）による。

2. 標仕に用いられている用語を次のとおり読み替える。
(1)「契約書」を「三条市財務規則（平成17年5月1日規則第40号）別記（第190条関係）建設工事請負基準約款」ならびに県央福祉会経理規定等」（以下「約款」という。）に読み替える。
(2)「監督職員」を「監督員」に読み替える。
(3)「特記仕様書」を「特記仕様」に読み替える。

3. 次の各号に該当する標仕の項目について、標仕の規定を別表に置き換えて適用する。
(1)　1章　1.1.2用語の定義の(1)、(14)及び(21)
(2)　〃　1.4.2材料の品質の(a)及び(b)
(3)　〃　1.4.4材料の検査等の(a)
(4)　〃　1.6.1工事検査の(b)及び(d)

4. 次に掲げる標仕の規定は、適用しない。
1章　1.1.2　用語の定義の(22)
〃　1.6.2　技術検査

別　表（建築工事）

号	項　目	置き換え後の標仕の規定
	1章　一般共通事項	
(1)	1.1.2　用語の定義	(1)「監督員」とは、約款第10条の規定により受注者に通知された者をいう。
		(14)「書面」とは発行年月日が記載され、署名又は捺印した文書、及び新潟県CALSシステム上で電子決裁処理された電磁的記録をいう
		(21)「工事検査」とは、約款に規定する次の各事項の確認をするために発注者又は検査職員が行う検査をいい、工事の施工体制、施工状況、出来形、品質及び出来ばえの検査を含む。（ただし、②に係る検査を除く。） ①工事の完成(約款第32条) ②部分払の請求に係る出来形部分又は部分払指定工事材料等(約款第38条) ③部分引渡しの指定部分に係る工事の完成(約款第39条) ④契約の解除時における出来形部分(約款第48条) ⑤必要があると認めたときの臨時検査(約款第50条)
(2)	1.4.2　材料の品質等	(a) 工事に使用する材料は「建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）契約時の最新版」の名簿に記載されている品目については、当該名簿に記載されている材料又は製造所の製品とするほか、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とする。ただし、仮設に使用する材料は、新品でなくてもよい。
		(b) 使用する材料が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を、監督員に提出する。 ただし、ＪＩＳ又は　ＪＡＳのマーク表示のある材料を使用する場合及びあらかじめ監督員の承諾を受けた場合(次の(1)から(3)のいずれかに該当する材料を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受けたとみなすことができる。）は、資料の提出を省略することができる。 (1)建築基準法その他の認定品で、マーク等の確認ができる材料 (2)建築材料・設備機材等品質性能評価事業　建築材料等評価名簿に記載されている材料又は製造所の製品（特記で標仕の規定に基づく品質及び性能以外を規定した場合を除く。） (3)特記により指定された材料又は製造者の製品
(3)	1.4.4　材料の検査等	(a) 現場に搬入した材料は、種別ごとに監督員の検査を受ける。ただし、次の(1)若しくは(2)に該当する場合またはあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 (1)工事完成検査時または工事写真で、ＪＩＳ若しくは　ＪＡＳのマークを確認できる場合 (2)建築基準法その他の認定品と指定された材料で、工事完成検査時または工事写真で品質、性能を証明するマーク等を確認できる場合
(4)	1.6.1　工事検査	(b) 約款に規定する部分払を請求する場合は、当該請求に係る出来形部分等の算出方法について監督員の指示を受けるものとする。 (d) (a)から(c)までの通知又は請求に基づく検査並びに約款第48条及び第50条に規定する検査は、発注者から通知された検査日に受ける。

Ⅱ　特記仕様

1. 項目は、番号に ◯ 印の付いたものを適用する。
2. 特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。
⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。
3. 特記事項に記載の（　．．　）内の表示番号は、標仕の当該項目、当該図または当該表を示す。
なお、(参考　・　)は標仕の「各部配筋　参考図」を表す。
4.　製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（　）内は製品名を示す。

章	項　目	特　記　事　項
①一般共通事項	1　工事実績情報の登録	※請負工事費500万円以上の場合は登録する。 (1.1.4)
	2　概成工期	※無し　・有(工期　平成　年　月　日) (1.2.1)
	③　品質計画等	建築基準法に基づき指定する条件 (1.2.2) ・地区の区分に応じた風速（Vo（m／sec））　・３０　・３２ ・地表面粗度区分　・Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ・多雪地域の指定　積雪区分　建告示第１４５５号　別表（　） ⊙構造計算書による
	④　監理技術者の要件	※建築工事に係る監理技術者証を有するもので、次のいずれかの要件を満たす監理技術者を専任で配置できること。 ①　建築工事の施工に関し、１０年以上の実務経験を有すること。 ②　一級建築士又は一級建築施工管理技士の資格取得後４年以上の実務経験を有すること。
	5　電気保安技術者	・要（　　）　・不要 (1.3.3)
	⑥　発生材の処理等	２４追加特記　８「発生材の処理等」による。 (1.3.8)
	⑦　特別な材料の工法	標仕に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定工法による。 (1.5.2)
	⑧　技　能　士	適用工事種別 ／ 技能検定の職種 鉄筋工事 ／ ⊙鉄筋施工(鉄筋組立て作業) コンクリート工事 ／ ⊙型枠施工 鉄骨工事 ／ ⊙とび ﾌﾞﾛｯｸ･ALCﾊﾟﾈﾙ工事 ／ ・ブロック建築　・ＡＬＣパネル施工 防水工事 ／ ・アスファルト防水工事作業　・塗膜防水工事作業 ・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業　⊙シーリング防水工事作業 石工事 ／ ・石材施工（石張り施工） タイル工事 ／ ・タイル張り 木工事 ／ ⊙建築大工 屋根及びとい工事 ／ ⊙建築板金（内外装板金作業）　・スレート施工 金属工事 ／ ⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） 左官工事 ／ ⊙左官 建具工事 ／ ⊙サッシ施工　⊙　ガラス施工 カーテンウォール工事 ／ ・カーテンウォール施工（ＰＣ）　・サッシ施工　・ガラス施工 塗装工事 ／ ⊙塗装（建築塗装作業） 内装工事 ／ ⊙ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業 ⊙ボード仕上げ工事作業　⊙表装（壁装作業） 植栽工事 ／ ・造園
	⑨　見本施工	※実施しない　・実施する（　　） (1.5.5)
	10　化学物質の濃度測定	２４追加特記　９「化学物質の濃度測定」による。 (1.5.9)
	⑪　完成図等	※下記のものを作成し提出する。なお、作成方法・部数等は、監督員の指示による。 ・案内図及び配置図　・平面図　・立面図　・断面図 (1.7.1～1.7.3) ⊙図面一式　⊙建物の保全に関する説明書(取扱説明書を含む。) ※原図　⊙陽画複写図　A1:1部、A3:1部　⊙ＣＡＤデータ（JWW,PDF） ・下記図面をＣＡＤデータ化し電子媒体にて提出する。作成方法・媒体等は、監督員の指示による。 案内図、配置図、各階平面図、立面図、断面図、矩計図、杭・基礎関係図、各伏せ図、各リスト、その他監督員が指示した図面
	⑫　施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。
	⑬　工事完成写真	工事完了後整理のうえ監督員に提出する。　※提出部数　3 部
	⑭　特別完成写真	写真専門業者の撮影した外観、内観カラー写真　2 部提出する。~~(不分共)~~ 大きさ　※キャビネ　⊙Ａ４額入り　⊙電子データ（200dpi/inch）
	⑮　工事施工状況写真	※工事施工状況写真の撮影は、工事に係る材料、施工及び品質管理の状況が確認できるように行うものとし、「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　営繕工事写真撮影要領（平成24年版）・同解説　工事写真の撮り方 建築編」を参考に、撮影計画書を作成して、監督員に提出する。 ただし、あらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、撮影計画書の作成を省略できる ※提出部数　2 部
	⑯　設備工事との取合い	２４追加特記　４「工事区分表」による。
②仮設工事	①　監督員事務所等	・監督員事務所　・10　・20　・35　・65　・　㎡程度を設ける。 (2.3.1) ⊙仮設事務所の中に監督員用空間を　10 ㎡程度確保する。
	②　監督員が使用できる備品等	監督員が使用できる備品として、下記のものを工事期間中現場に用意し、貸与する。 (2.3.1) ⊙保護帽　5 ケ　⊙雨具　5着　⊙長靴　5足　⊙安全帯　5組
	③　工　事　用　水	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	④　工　事　用　電　力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）
	⑤　仮　設　建　物　等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。
②仮設工事	⑥　足　場	外部足場は枠組足場とする。 「手すり先行工法に関するｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ」に基づく足場の設置に当たっては、同ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝの別紙１「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
③土工事	①　埋戻し及び盛土	・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・建設汚泥から再生した処理土 (3.2.3)(表3.2.1) ※杭残土は構外搬出適切処理とすること
	②　建設発生土の処理	・構内指示の場所（・敷き均し　・堆積） (3.2.5) ⊙構外搬出適切処理(指定場所：　　) ・処分地未特定のため、場内仮置きとし契約後変更とする
④地業工事	①　試験	試験杭 (4.2.1～4.2.4) 位置、本数及び寸法　※図示　・監督員の指示による 杭の載荷試験　・鉛直載荷試験　・水平載荷試験 試験位置　※図示　載荷荷重　N/mm² 地盤の載荷試験　※平板載荷試験　・ 試験位置　※図示　載荷荷重　N/mm²
	②　既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭地業	種類 (4.3.1)(4.3.2) ⊙遠心力高強度プレストレストコンクリートくい（ＰＨＣ杭） ・外殻鋼管付きコンクリートくい（ＳＣ杭） ⊙プレストレス鉄筋コンクリートくい（ＰＲＣ杭） 杭径（mm）／杭長(m)及び種別／継手箇所数／長期設計支持力(kN/本)／セット数等 構造図参照 先端部形状　※開放形　・閉そく平たん形 (4.3.2) 施工法 (4.3.3～4.3.5) ⊙特定埋込み杭工法(建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの) ・セメントミルク工法　支持地盤への掘削深さ　・1.5m程度　・ 支持地盤への根入れ深さ　・１m以上　・ ・打込み工法 水平方向の位置ずれ精度　・100mm以下　・　mm以下 杭の継手　※アーク溶接（　）　⊙無溶接継手 (4.3.6) 杭頭の処理　※切断しない　・ (4.3.7)
	3　場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別及び設計基準強度 (4.5.3)(表4.5.1) （　）種かつ（　）N/mm　以上 セメントの種類　※高炉セメントＢ種　・ (4.5.3) 帯筋　※参考2.2④丸形(ロ)　・図示 (4.5.3) 掘削工法　・アースドリル工法(※安定液使用　・無水掘削) (4.5.4) ・リバース工法 ・オールケーシング工法(孔内の水張　※行う　・行わない) ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.5) ・拡底杭工法　（※安定液使用　・　） 孔壁測定　・行う　・　行わない (4.5.4～4.5.5)
	④　砂利地業	※再生クラッシャラン　・　切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.2)
	⑤　床下防湿層	施工箇所　※建物内の土間ｽﾗﾌﾞ及び土間ｺﾝｸﾘｰﾄ下（ﾋﾟｯﾄ下を除く）・図示による (4.6.5)
⑤鉄筋工事	①　鉄筋の種別	(5.2.1)(表5.2.1) 種類の記号／呼び径（mm）／備考 ⊙ＳＤ３４５／D19以上／異形鉄筋 ⊙ＳＤ２９５Ａ／D16以下／異形鉄筋 ・／／
	②　鉄筋の継手	呼び名19mm以上の柱、梁の主筋　※ガス圧接　・重ね継手 (5.3.4) 継手位置　※各部配筋参考図による　・図示
	③　鉄筋の最少かぶり厚さ	最小かぶり厚さは目地底から算定する (5.3.5) ・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による 施工箇所／表5.3.6の値に加える寸法(mm) 柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面／※１０　・
	④　帯　筋	※Ｈ形(□は除く)　・ (参考2.2)
	5　最上階柱頭補強	※行う　・　行わない (参考2.1)
	6　壁開口部の補強	一般壁　※Ａ形　・Ｂ形　・図示 (参考4.4) 耐震壁　※図示
	⑦　梁貫通孔の補強形式	※Ｈ形　・ＭＨ形　・Ｍ形 (参考7.1) ⊙既製品(建築基準法による指定又は認定を受けたもの)
	⑧　圧接完了後の抜取試験	※超音波探傷試験　・引張試験 (5.4.9)
⑥コンクリート工事	①　普通ｺﾝｸﾘｰﾄの設計基準強度	設計基準強度 Fc(N/mm²)／施工箇所／スランプ ※２１／⊙基礎、基礎梁、腰壁、スラブ／⊙15,18 ⊙２１／⊙デッキ床、建物と絡まない機械基礎等／⊙15 ⊙１８／⊙捨てコン／⊙15 ／／・ ※構造体ｺﾝｸﾘｰﾄ：発注強度=設計基準強度（Ｆｃ）+構造体強度補正値（Ｓ）
	②　ﾚﾃﾞｨｰﾐｯｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄの類別	※Ⅰ類　・Ⅱ類 (6.2.1)(表6.2.1)
	③　セメントの種類	※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(6.3.1)(6.13.2)(表6.3.1) ・高炉セメントＢ種（　）
		普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞの品質は、JIS R5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋ｺﾝｸﾘｰﾄに用いる場合を除く。 水和熱／7ｄ／352 J/g以下 28ｄ／402 J/g以下
⑥コンクリート工事	④　骨材の品質	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)(6.5.4) ・Ａ ⊙Ｂ(※コンクリート中のアルカリ総量Ｒｔ=3.0kg/m 以下)
	⑤　混和材料の種別	※混和剤　・　混和材 (6.3.1)(6.3.2)
	6　無筋コンクリート	※下記のコンクリートは無筋コンクリートとして扱う。 ・建物内土間コンクリート、ポーチ、犬走り、機械架台　・
	⑦　型枠	外部に面するコンクリート打放し仕上げ（仕上塗材、塗装等の仕上げを行う場合を含む。）の打増し厚さ　※20㎜　・図示 (6.8.2) ひび割れ誘発目地　※図示　・監督員の指示による
	8　ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体表面の処理	外装ﾀｲﾙ後張り面の躯体表面の処理 (6.8.3)(11.3.7)(15.2.4) ＭＣＲ工法又は15.2.4.(C)による目荒らし工法とする。なお、目荒らし工法の場合は、モルタルの接着に適した粗面に仕上げる工法を、1.2.2「施工計画」による品質計画で定める。また、粗面の状態は、監督員の承諾を受ける。 適用範囲は１１章タイル工事　3コンクリート素地面の処理による。 コンクリートの増打ち厚さ　※２０㎜　・
	⑨　コンクリート打放し仕上げ	厚さは合板の厚さとする。 (表6.2.4) 種別／コーン穴の仕上げ面／厚さ／施工箇所 ・Ａ種／・面うち　・面と同一／※12㎜　・　15㎜／ ⊙Ｂ種／・面うち　⊙面と同一／※12㎜　・　15㎜／ ・Ｃ種／／・12㎜／
	10　寒中コンクリート	・適用する　※適用しない (6.11.1)
⑦鉄骨工事	①　鉄骨の製作工場	・監督員の承諾する製作工場 (7.1.3) ・建築基準法第７７条の４５第１項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(財)日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「Ｍ　グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
	②　施工管理技術者	※適用する　・適用しない (7.1.3)(7.1.4)
	③　鋼　材	鋼材の材質 (表7.2.1)(表7.2.1) 種類の記号／使用箇所／規格等 ／／※JIS規格による 構造図参照 ／／※JIS規格による ／／
	④　高力ボルト	※ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ　・ＪＩＳ形高力ﾎﾞﾙﾄ　⊙溶融亜鉛めっき高力ﾎﾞﾙﾄ (7.2.2)
	⑤　工作図	高力ボルト及び普通ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2) ※建築工事監理指針による　⊙図示
	⑥　開先形状	※鉄骨工事技術指針による　⊙図示 (7.6.4)
	⑦　スカラップ	※図示による　⊙監督員の指示による (7.6.7)
	⑧　溶接部の試験	ＡＯＱＬ　※４．０％　・２．５％ (7.6.11) 検査水準　※第６水準　・　図示 (7.6.11)(表7.6.2) 試験の種別／試験箇所／試験方法 ⊙超音波探傷試験／完全溶込溶接部／※標仕7.6.11(b)による ／／・図示 ・放射線試験／／ ・マクロ試験／／
	⑨　デッキプレートの溶接	⊙焼抜き栓溶接　・アークスポット溶接 (7.7.8) ・隅肉溶接　⊙頭付スタッド工法
	⑩　耐火被覆	(7.9.2～7.9.6) 種別／所要性能及び適用構造区分 ⊙耐火材吹付け／・乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ／ ⊙半乾式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ／１時間耐火仕様 ・湿式吹付けﾛｯｸｳｰﾙ／ ・／ ・耐火板張り／ ・耐火材巻付け／ ・ﾗｽ張りﾓﾙﾀﾙ塗り／
	⑪　アンカーボルトの保持及び埋込み工法	※構造用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(形状、寸法は図示による。) (7.10.3) ⊙建方用ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ(・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種) (表7.10.1)
	⑫　柱底均しモルタル	※Ａ種　・Ｂ種 (表7.10.2)
	⑬　錆止め塗料塗り	※Ａ種　・Ｂ種 (表18.3.1)
8 押出成形セメント板工事 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル	1　建築用コンクリートブロック (6.1.4)	補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造 (8.2.2) 断面形状及び圧縮強さによる区分／厚さ(mm)／適用箇所 ※空洞ﾌﾞﾛｯｸ16／／ ・空洞ﾌﾞﾛｯｸ16-W／／
	2　鉄筋の加工及び組立	※図示　・監督員の指示による (8.2.5)
	3　ＡＬＣパネル	(8.4.2～8.4.5)(表8.4.2)(表8.4.3) 種類／単位荷重(N/㎡)／厚さ(mm)／取付け工法種別等 ・外壁パネル／・1180　・1960／・100／・Ａ種　・Ｂ種 ※平パネル／／・120／ ・意匠パネル／／・／ ・間仕切パネル／／・80　・100／・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種 ※平パネル／／・／ ・屋根パネル／・980／・100／※標仕8.4.5による ・床パネル／・2350　・3530／・100　・150／耐火性能・有り（・1時間・2時間）

仕様書(そのⅠ)

〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社　熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337　FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所
新潟県知事　登録（　）第197号
一級建築士
大臣登録　第151507号　安達俊明

設計	検図	承諾	設計年月日
本間	丸山	安達	平成２７年０３月

図面サイズ	縮尺	工事名称	種別	図面番号
A1	—	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	AA	02
A3	—	図面名称 建築工事特記仕様書（１）		

8 押出成形セメント板・コンクリートブロック・ALCパネル

4 押出成形セメント板（ＥＣＰ）

(8.5.2～8.5.4)(表8.5.1)(表8.5.2)

施工箇所	表面形状	厚さ(mm)	幅(mm)	工法	耐火性能
・外壁ﾊﾟﾈﾙ	※ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ			・A種	※有り（　）
	・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ			・B種	・無し
	・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ				
・間仕切壁ﾊﾟﾈﾙ	※ﾌﾗｯﾄﾊﾟﾈﾙ			・B種	※無し
	・ﾃﾞｻﾞｲﾝﾊﾟﾈﾙ			・C種	・有り（　）
	・ﾀｲﾙﾍﾞｰｽﾊﾟﾈﾙ				

⑨ 防水工事

1 アスファルト防水

(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3)～(表9.2.9)

種別	施工箇所
・ＡＩ－１	
・ＡＩ－２	
・Ａ－２	
・Ｄ－２	
・ＢＩ－２	

アスファルト　※３種　・　(9.2.2)

断熱工法の断熱材　厚さ(mm)　※ 25　・　(9.2.2)

材質　屋根保護工法　※A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3種bスキン層付き

材質　露出防水断熱工法　※A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ2種1号または2号

乾式保護材の材料　(9.2.2)

種類		寸法(mm)：厚さ×幅	適用
・押出成形ｾﾒﾝﾄ板（窯業系ﾊﾟﾈﾙ）	※Ⅰ類	※１５　×	※無石綿に限る
	・Ⅱ類	・　×	
・金属複合板		※１２　×	

2 改質アスファルトシート防水

(9.3.2)(9.3.3)(表9.3.1)～(表9.3.3)

種別	施工箇所
・ＡＳ－１	
・ＡＳ－２	

3 合成高分子系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄ防水

(9.4.2)(9.4.3)(表9.4.1)(表9.4.2)

種別	厚さ	施工箇所	仕上塗料塗り	使用分類
・			・シルバー	・非歩行
・			・カラー	・軽歩行

ＰＣコンクリート部材下地　(9.4.4)

目地処理(接着工法)　※図示

入隅部の増張り(S-F1、S1-F1工法の場合)　※行わない　・行う（幅　mm程度）

4 塗膜防水

(9.5.2)(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

種別	施工箇所	備考
・Ｘ－１		仕上塗料塗り
・Ｘ－２		・シルバー　・カラー

種別　Ｘ－１の脱気装置

・設ける　材質　※製造所標準仕様　・（　）

設置数量　※製造所指定数量　・（　㎡当たり１箇所）

⑤ シーリング

下表以外は標仕表9.6.1による　(9.7.2)(表9.7.1)

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
図示	ＭＳ－２

接着性試験　(9.7.5)

※簡易接着性試験　・引張接着性試験(施工部位　)

ただし試験成績書を監督員に提出し、承諾を得た場合は試験を省略できる

6 防水の保証等

※防水工事は、新潟県防水工事業協同組合員の施工とし、受注者は新潟県防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。ただし、県が認めた場合は、組合員外の施工とすることができる。この場合は、受注者と施工者との連名の保証書とする

工法種別	施工箇所	保証期間
・　工法		１０年間
・　工法		１０年間
・　工法		１０年間

⑩ 石工事

① 天然石張り

石の品質　(10.2.1)

床用石材　※２等品　・１等品（施工場所　）

壁及びその他の石材　※１等品　・２等品（施工場所　）

石の種類・表面仕上げ　(10.2.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

施工箇所	種類	産地・名称	厚さ(mm)	仕上げの種類
玄関ﾎｰﾙ巾木	花こう岩		20	本磨き

2 テラゾ張り

種石の種類　※大理石　・　(10.2.1)

表面仕上げ　※本磨き　・　(表10.2.2)

3 床及び階段の石張り

床石張りの石裏面処理　・　行う　(10.6.2)

屋内のワックス掛け　・　行う　(10.1.5)

⑪ タイル工事

①陶磁器質タイル

タイルの種類　(11.2.2)

施工場所・用途	形状寸法(mm)	耐凍害性 あり	耐凍害性 なし	うわぐすり 施釉	うわぐすり 無釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 特注	備考
階段	150×60	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	・	磁器質段鼻ﾀｲﾙ
玄関ホール	300×300	⊙	・	・	⊙	・	・	⊙	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	

備考欄に記載された商品名等は、品質の程度を示すための参考商品名である。

役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う（※外装タイル　・　）

2 壁タイル張り工法

内装タイル　・壁タイル接着剤張り　・改良積上げ張り　(11.2.7)(表11.2.3)

外装タイル　・ 密着張り　・マスク張り

下地モルタル塗り　※標仕15.2.2～15.2.5

タイルの試験張り　※行わない　・行う（※外装タイル　・　）

3 コンクリート素地面の処理

※ＭＣＲ工法又は目荒らし工法(ポリマーセメントモルタル下地)　(11.2.7)

施工範囲　※ 図示

4 陶磁器質タイル型枠先付け工法

(11.4.2)(11.4.3)(表11.4.1)

適用タイル	種別	タイル型枠先付面のせき板
・小口タイル	※タイルシート法	※標仕6.8.3[材料](b)(2)又は金属製
・二丁掛タイル	・目地桟工法	タイル先付け用パネル
・大形タイル	・桟木法	・

⑫ 木工事

1 樹種

・標仕表12.2.3による　(12.2.1)

・標仕表12.2.3によるほか、樹種のうち杉は「越後杉ブランド」を使用する

・代用樹種を適用しない箇所（　）

② 集成材

(12.2.1)

品名	規格・品質	芯材の樹種	化粧単板の樹種
※集成材	※一般材	※たも・なら・しおじ	
⊙造作用集成材	※１級　・２級	⊙ベルポック	
		⊙メルクシ	
・化粧ばり造作用集成材	※１級　・２級	・	

③ 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　(12.2.2)

④ 防腐・防蟻処理

・処理が不要な樹種による製材及び集成材　(12.3.1)

・加圧式　(性能区分　・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４　)　(12.3.1)

(適用箇所　・図示　)

⊙現場塗布　標仕12.3.1(3)による　(12.3.1)

(適用箇所　⊙図示　)

防腐・防蟻処理は、ｸﾛﾙﾋﾟﾘﾎｽ等を含有しない非有機ﾘﾝ系の表面処理用木材保存剤とし、種類及び品質等が確認できる資料を監督員に提出し承諾を受ける。

5 防虫処理

・行う　(適用範囲　・図示　)　(12.3.2)

⑬ 屋根及びとい工事

① 長尺金属板葺

(13.2.2)(13.2.3)(表13.2.1)

屋根葺形式	長尺金属板の種類	板厚(mm)
横段葺き	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板	※0.4
	⊙ 塗装ステンレス鋼鈑	⊙ 0.35
立平葺き	⊙ 塗装ステンレス鋼鈑	⊙ 0.35

② 折板葺

(13.3.2)(13.3.3)(表13.2.1)

形式	※重ね形　⊙はぜ締め形　・かん合形
形状(mm)	山高(160)以上　)山ﾋﾟｯﾁ(　500　)　板厚　※ 0.6　⊙ 0.8
材料（規格等）	※塗装溶融55%ｱﾙﾐﾆｳﾑ亜鉛合金めっき鋼板 ・
軒先面戸板	※有り　・無し
断熱材	※有り（種別　厚　8 mm）　・ 無し
耐火性能	※30分耐火　・ 無し

③ とい

材種　※配管用鋼管　⊙硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　(13.5.2)(表13.5.1)

・ﾘｻｲｸﾙ硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ発泡三層管

鋼管製といの防露　※ 標仕表13.5.5による

掃除口　・有り　・無し

⑭ 金属工事

1 あと施工アンカーの引抜き耐力試験

※ 適用する。　(14.1.3)

2 ステンレスの表面仕上げ

(14.2.1)

種類	施工箇所
※ＨＬ程度	下記以外の見え掛かり全て
・No２Ｂ程度	
・鏡面仕上げ	
・	

③ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.2)(表14.2.1)

種別	色合い	施工箇所
・Ｂ－１種	無着色	
⊙Ｂ－２種	・ﾌﾞﾗｳﾝ系	サッシ、額縁他
	⊙ﾌﾞﾗｯｸ	
	⊙ｽﾃﾝｶﾗｰ	
・		

④ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.3)(表14.2.2)

表面処理法	種別	施工箇所
溶融亜鉛めっき	⊙Ａ種(板厚6.0mm以上)	2階外階段受梁
	⊙Ｂ種(板厚3.2mm以上)	外階段（2ヶ所）
	・Ｃ種(板厚1.6mm以上)	
電気亜鉛めっき	・Ｄ種	
	・Ｅ種	
	・Ｆ種	

⑤ 軽量鉄骨天井下地

屋外の場合の形式及び寸法　(14.4.3)(表14.4.2)

※下記以外は、標仕14.4.3及び表14.4.2による

下地材の間隔(mm) 野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ 中央部	下地材の間隔(mm) 野縁受、吊りﾎﾞﾙﾄ、ｲﾝｻｰﾄ 周辺部	野縁	施工箇所

ただし、建築基準法に基づき指定する条件により、定まる風圧力に対応した工法を、標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める。

ふところが３ｍを超える場合の補強　※図示　・　(14.4.4)

⑭ 金属工事

6 金属成形板張り

(14.6.2)(表14.2.1)

形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理	色合い
・ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形	・押出し	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製			・Ｂ-１種	無着色
	・ﾛｰﾙ	・			・Ｂ-２種	・ﾌﾞﾗｳﾝ系
・ﾊﾟﾈﾙ形	※ﾌﾟﾚｽ				・	・ﾌﾞﾗｯｸ
	・					・ｽﾃﾝｶﾗｰ

伸縮調整継手　※設けない　・設ける（施工箇所は図示）　(14.6.3)

⑦ アルミニウム製笠木

オーブン形アルミニウム製笠木の種類　(14.7.2～3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類	呼称肉厚(mm)	表面処理及び色合い		固定間隔・方法
・100形	1.5以上	※A-1又はB-1種(無着色)		建築基準法に基づき指定する条件により定める
⊙225形	1.6以上	⊙B-2種	・ﾌﾞﾗｳﾝ系	
・300形	1.8以上		⊙ﾌﾞﾗｯｸ	
・350形	2.0以上		・ｽﾃﾝｶﾗｰ	

コーナー部及び突当たり部等の役物は笠木本体製造所の仕様による。

⑧ 手すり及びタラップ

(14.2.1)(14.8.2～3)(表14.2.2)

種類	材料の種別	表面処理	
⊙手すり	※ｽﾃﾝﾚｽsus304	※ＨＬ程度	・鏡面程度　⊙ 2B
	・鉄	亜鉛めっき	外部　※Ｃ種　・
			内部　※Ｅ種　・
・タラップ	※ｽﾃﾝﾚｽsus304	※研磨なし	・
	・鉄	亜鉛めっき	内部外部　※Ｃ種　・

⑮ 左官工事

① 床コンクリートの直均し仕上げ

下表以外は標仕表6.2.4及び標仕15.3.2による　(表6.2.5)(15.3.1)(15.3.2)

施工箇所	平たんさ(mm)	備考
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(ﾊﾟﾈﾙ構法)範囲	1mにつき10以下	塗料塗りの場合も含む
ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ(溝構法)範囲	3mにつき 7以下	

② 仕上塗材仕上げ

(15.5.2)(表15.5.1)

種類	呼び名	仕上げの形状等
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材Ｅ	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
	・内装薄塗材Ｅ	砂壁状じゅらく
	・	
⊙複層仕上塗材	・複層塗材ＣＥ	・ゆず肌　・凸部処理　※凹凸模様
	・複層塗材Ｅ	耐候性　※３種　・２種　⊙１種
	・複層塗材ＲＥ	上塗材
	⊙防水形複層塗材Ｅ	溶媒　※水系　・溶剤系
	・防水形複層塗材ＲＳ	樹脂　※ｱｸﾘﾙ系　⊙ふっ素
	・	・ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系
	・	・ﾒﾀﾘｯｸ
	・	外観　※つやあり　・つやなし
	・	防水形の増塗材　※行う

防火材料の指定　※屋内の壁、天井の仕上げ材は防火材料とする。　(15.5.2)

⑯ 建具工事

1 見本の製作等

・見本の製作　(建具番号　)　(16.1.4)

・特殊な建具の仮組等（建具番号　）

② 防犯建物部品

※適用する（適用部品及び適用位置は図示による）　(16.1.6)

③ アルミニウム製建具

外部に面する建具の性能値等　(16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	※Ａ－３	※Ｗ－４	※７０	アルミサッシ
※Ｂ種	Ｓ－５	・	・	・	
・Ｃ種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００	

表面処理　(16.2.4)(表14.2.1)

施工箇所	種別	色合い等
外部建具	※Ｂ-１種	無着色
	⊙Ｂ-２種	標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系　⊙ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）
	・	・
内部建具	※Ｃ-１種又はＢ-１種	無着色
	⊙Ｃ-２種又はＢ-２種	標準色（※ﾌﾞﾗｳﾝ系　⊙ﾌﾞﾗｯｸ　⊙ｽﾃﾝｶﾗｰ）

4 樹脂製建具

外部に面する建具の性能値等　(16.3.2)(16.3.4)(表16.3.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	施工箇所
・Ａ種	Ｓ－４	Ａ－４	Ｗ－４	※７０	
・Ｂ種	Ｓ－５		Ｗ－５		
・Ｃ種	Ｓ－６				

外部に面する建具の遮音性能値　(16.3.2)(表16.3.2)

種別	性能等級	施工箇所
・Ｔ－Ａ種	Ｔ－１	適用箇所は建具表による
・Ｔ－Ｂ種	Ｔ－２	

外部に面する建具の断熱性能値　(16.3.2)(表16.3.3)

種別	性能等級	性能値(㎡・Ｋ/Ｗ)	施工箇所
・Ｈ－Ａ種	Ｈ－４	0.344以上	適用箇所は
・Ｈ－Ｂ種	Ｈ－５	0.430以上	建具表による

ガラス　※複層ガラス　・単層ガラス　・三重ガラス　(16.3.3)

表面色　標準色（※ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー）　(16.3.4)

水切り　※図示　(16.3.5)

⑤ 網戸

防虫網　(16.2.3)

網の種別　※合成樹脂製　・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂製　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS316)製

形　式　⊙外部可動式　・固定式　・図示

6 鋼製建具（標準型鋼製建具を含む）

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.4.2)(16.4.6)(表16.4.1)

※適用する(適用箇所は建具表による)　・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性　(16.4.2)(表16.2.1)

・Ｓ－４　・Ｓ－５　・Ｓ－６

6 鋼製建具（標準型鋼製建具を含む）

鋼板類の厚さ（１枚の戸の有効間口幅950㎜又は有効高さ2,400㎜を超える場合）

※下表以外は表16.4.2による　(16.4.4)(表16.4.2)

区分		使用箇所	厚さ(mm)
窓	枠類	外部の下枠、水切り板	2.3
出入口	枠類	外部に面するスイングドアの建具	2.3
	戸	中骨	2.3

・図示

⑦ 鋼製軽量建具（標準型鋼製軽量建具を含む）

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.5.2)(16.5.6)(表16.4.1)

・適用する（適用箇所は建具表による）

8 ステンレス製建具

簡易気密型ﾄﾞｱｾｯﾄの性能の適用　(16.5.2)(表16.5.2)

・適用する（適用箇所は建具表による）

外部に面する建具の耐風圧性　(16.6.2)(表16.2.1)

・ Ｓ－４　・ Ｓ－５　・ Ｓ－６

表面仕上げ　※ＨＬ仕上げ　・鏡面仕上げ　(16.6.4)

曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ　(16.6.5)

⑨ 木製建具

かまち戸の樹種　かまち（　）　鏡板（　）　(16.7.2)

ふすまの上張り　※新鳥の子又はﾋﾞﾆﾙ紙程度　・鳥の子　(表16.7.3)

ふすまの縁の仕上げ　・塗り縁　・生地縁　(表16.7.9)

⑩ 建具用金物

マスターキー　※製作する（ 3 本）　・製作しない　(16.8.4)

鍵札数量　⊙錠前１組に２枚とする　・錠前１組に　枚とする

かぎ箱　市販品　形式　⊙３０組用　・６０組用　・１２０組用

⑪ 自動ﾄﾞｱ開閉装置

(16.9.2)(16.9.3)(表16.9.3)

開閉方法	センサーの種類				
※ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ	・ﾏｯﾄｽｲｯﾁ	・電子ﾏｯﾄｽｲｯﾁ	・ﾀｯﾁｽｲｯﾁ	※光線ｽｲｯﾁ	
・ｽｲﾝｸﾞﾄﾞｱ	・音波ｽｲｯﾁ	・ﾍﾞﾀﾞﾙｽｲｯﾁ	・熱線ｽｲｯﾁ	・光電ｽｲｯﾁ	
	・押しﾎﾞﾀﾝｽｲｯﾁ	・多機能便所ｽｲｯﾁ			

凍結防止措置　※ 行わない　・ 行う（　）　(16.9.3)

12 自閉式上吊り引戸装置

※適用する（適用建具及び適用位置は図示による）　(16.10.1)

13 重量シャッター

外部に面するシャッターの耐風圧強度（　）N/㎡　(16.11.2)

開閉機能　※上部電動式（手動併用）　・上部手動式　(16.11.2)(表16.11.1)

一般重量シャッターのシャッターケース　※設ける　・設けない　(16.11.2)

14 軽量シャッター

開閉形式　※手動式　・上部電動式（手動併用）　(16.12.2)

外部に面するシャッターの耐風圧強度（　）N/㎡　(16.12.2)

スラット　(16.12.3)(16.12.4)(表16.12.2)

材質	めっき付着量	厚さ(mm)	形状
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯	※Z06又はF06 ・	・0.5 ・0.6	※ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ形 ・ｵｰﾊﾞｰﾗｯﾌﾟ形
・塗装溶融ｱﾙﾐﾆｳﾑ-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯	※AZ90 ・	・0.8 ・1.0	

ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ等　※鋼板製　・ｽﾃﾝﾚｽ製SUS304(厚さ1.5mm)　(表16.12.2)

ｼｬｯﾀｰｹｰｽ　厚さ（mm）　・0.4　・0.8　・　(表16.12.2)

15 ｵｰﾊﾞｰﾍｯﾄﾞﾄﾞｱ

(16.13.2)(16.13.3)

セクション材料	開閉方式	収納形式	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ
※スチールタイプ	※ﾊﾞﾗﾝｽ式	・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞ形	・溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ﾛｰﾍｯﾄﾞ形	※ステンレス鋼板(SUS304)
・ファイバーグラスタイプ	・電動式	・ﾊｲﾘﾌﾄ形	
		・ﾊﾟｰﾁｶﾙ形	

耐風圧性能による区分　・５０　・７５　・１００　・１２５　(16.13.2)

⑯ ガラス

下記以外は、建具表による　(16.14.2)

・合わせガラス

特性による種類　※ Ⅱ-1類

⊙強化ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	特性による種類
⊙ﾌﾛｰﾄ強化ｶﾞﾗｽ	Ⅲ類（曲面はⅠ類）
⊙型板ｶﾞﾗｽ	

・熱線吸収板ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類	色調
・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ	・ﾌﾞﾙｰ　・ｸﾞﾚｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・ｸﾞﾘｰﾝ
・熱線吸収網入り磨き板ｶﾞﾗｽ	

⊙複層ガラス

品質	断熱性、日射遮へい性による区分
⊙断熱複層ｶﾞﾗｽ	・Ｕ３－１　・Ｕ３－２
・日射熱遮へい複層ｶﾞﾗｽ	・Ｅ４　・Ｅ５

⊙熱線反射板ガラス

品質	反射皮膜面	材料板ｶﾞﾗｽの種類	映像調整
※熱線反射ｶﾞﾗｽ	※内面　・外面	⊙ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ	※行わない
⊙高性能熱線反射ｶﾞﾗｽ	⊙内面	・熱線吸収ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽ	・行う
		・強化ｶﾞﾗｽ	
		・倍強度ｶﾞﾗｽ	

・倍強度ガラス

材料板ｶﾞﾗｽによる種類の名称	色調
※ﾌﾛｰﾄ倍強度ｶﾞﾗｽ	
・熱線吸収倍強度ｶﾞﾗｽ	・ｸﾞﾚｰ　・ﾌﾞﾙｰ　・ﾌﾞﾛﾝｽﾞ　・

仕様書(そのⅡ)

〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337　FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所　新潟県知事　登録（ ）第197号
一級建築士　大臣登録　第151507号　安達俊明

設計	検図	承諾	設計年月日	図面サイズ	縮尺	工事名称	種別	図面番号
本間	丸山	安達	平成２７年０３月	Ａ１	－	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	AA	03
				Ａ３	－	図面名称 建築工事特記仕様書（２）		

16 建具工事

17 ガラス留め材

ガラス留め材 (16.14.2)(表9.7.1)

建具の種類	材　種
アルミニウム製	⊙ｼｰﾘﾝｸﾞ材　※ｶﾞｽｹｯﾄ（FIX部はｼｰﾘﾝｸﾞ材）
鋼製及び軽量鋼製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材
ステンレス製	※ｼｰﾘﾝｸﾞ材

18 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み

(16.14.5)

寸法(mm)		表面形状		性能等	
呼び寸法	厚さ	色調	パターン	防火性能	耐火性能
		※クリア		※無し	※無し
・		・		・	・

壁用金属枠及び補強材

壁用金属枠の種類	規格及び補強材等
※アルミニウム製	・標仕16.2.3のｱﾙﾐﾆｳﾑ製建具の材料による
・	・

化粧目地モルタルの色　※モルタル色　・

シーリング材料

下記以外は標仕表9.6.1による (16.13.5)(9.6.2)(表9.6.1)

被着体の組合せ	シーリング材の種別		
	記号	主成分による区分	耐久性による区分

19 ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ｶﾞﾗｽ飛散防止ﾌｨﾙﾑ	第２種	※内張り　・外張り	飛散防止率　Ｄ１
・			

品質　JIS A 5759による

18 塗装工事

① 材料　※屋内の壁及び天井仕上げ材は、防火材料とする。 (18.1.3)

② 素地ごしらえ　せっこうﾎﾞｰﾄﾞ及びその他のﾎﾞｰﾄﾞ面の継ぎ目処理工法の場合 (18.2.7)(表18.2.7)

種別　※Ａ種　・Ｂ種（施工箇所：　　）

３ ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｸﾘｱ塗り

適用範囲　ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板素地面

工法	塗料その他	塗付け量(Kg/㎡)
１ 素地ごしらえ	乾燥、汚れ、付着物除去	
２ 下塗り(1回目)	浸透性吸水防水材(ｼﾗﾝ系)	0.08
３ 下塗り(2回目)	浸透性吸水防水材(ｼﾗﾝ系)	0.08
４ 中塗り	ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ﾜﾆｽ	0.10
５ 上塗り	ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ﾜﾆｽ	0.10

④ 塗装業者　※日本塗装工業会の会員　⊙監督員の承諾する業者

19 内装工事

① 接着剤　※接着剤に含まれる可塑材は、難揮発性とする。 (19.2.2)(19.3.3)(19.5.6)(19.7.2)(19.8.2)

② ビニル床シート張り (19.2.2)

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
※発泡層のないもの	※ＦＳ　・	※無地　⊙ﾏｰﾌﾞﾙ柄	※2.0
⊙発泡層のあるもの	⊙ＨＳ	※柄物　・無地	⊙2.8
・			

工法　※熱溶接工法　・突付け（施工箇所　　） (19.2.3)

３ ビニル床タイル張り (19.2.2)

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
※ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(半硬質)	ＣＴ	※2.0	
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(軟　質)	ＣＴＳ	・	
・ﾎﾓｼﾞﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＨＴ	・	
・置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	ＨＴＬ	・	

４ 誘導用、注意喚起用床材

視覚障害者用ﾀｲﾙ (19.2.2)

適用箇所	種類	寸法(mm)	形状
屋内	・塩化ﾋﾞﾆﾙ系	※300×300　・	ﾌﾞﾛｯｸﾊﾟﾀｰﾝ
	・ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300　・	JIS T 9251
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	による
屋外	・ｺﾝｸﾘｰﾄ系	※300×300×60　・300×300×30	色彩は黄色とする
	・磁器又はせっ器ﾀｲﾙ	・	

５ ビニル幅木

高さ(mm)　※６０　・７５　⊙１００ (19.2.2)

６ 帯電防止床ﾀｲﾙ張り (19.2.2)

種類	厚さ(mm)	性能
・ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※2.0　・	体積抵抗値(JIS K 6911による)
・ﾎﾓｼﾞﾆｱｽﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ	※4.0又は4.5	1.0×10^{9}Ω以下、又は、
⊙置敷きビニル床タイル	⊙5.0	漏洩抵抗値(JIS A 1454による)
・	・	1.0×10^{10}Ω未満

７ カーペット敷き

・織じゅうたん (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.1)

種別	織り方	ﾊﾟｲﾙ形状	帯電性	色・柄等
・Ａ種	・ｳｨﾙﾄﾝｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	人体帯電圧	※単一色(無地)
・Ｂ種	・ﾀﾞﾌﾞﾙﾌｪｰｽｶｰﾍﾟｯﾄ	・ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※3kV以下	・柄物(標準品)
・Ｃ種	・ｱｷｽﾐﾝｽﾀｰｶｰﾍﾟｯﾄ	・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・	

・タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

ﾊﾟｲﾙ形状	ﾊﾟｲﾙ長(mm)	工法	帯電性
・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	※5.0～7.0　・	※全面接着工法	人体帯電圧
・ﾏﾙﾁﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟ	※4.0～6.0　・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	※3Kv以下
・ﾚﾍﾞﾙﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※4.0		・
・ｶｯﾄ､ﾙｰﾌﾟ併用	・		

19 内装工事

７ カーペット敷き

・タイルカーペット (19.3.3)

種別	ﾊﾟｲﾙ形状	電気抵抗値(Ω)	施工箇所
※第一種	※ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ	※適用しない	
・	・ｶｯﾄﾊﾟｲﾙ	・10^{3}Ω以下	

８ 合成樹脂塗り床

(19.4.2)(表19.4.1～表19.4.8)

種別	仕上げの種類
・弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上　・防滑仕上　・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜流し展べ工法（※平滑　・防滑）
	・厚膜流し展べ工法（※平滑　・防滑）
	・樹脂モルタル工法（※平滑　・防滑）
	・薄膜型塗床工法

９ 床用塗料塗り

材　質　ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗料　（※標準色　・　　）

仕上種別　※平滑仕上げ　・防滑仕上げ

塗布量　ﾌﾟﾗｲﾏｰ塗のうえ主剤2回塗りとし、総塗布量は0.5Kg/㎡以上とする。

10 防塵用塗料塗り

材　質　水性ｱｸﾘﾙ系塗料　（※標準色　・　　）　・図示

仕上種別　ｺｰﾃｨﾝｸﾞ（ﾛｰﾗｰ刷毛塗り）

塗布量　主剤2回りとし、総塗布量は0.25Kg/㎡以上とする。

11 フローリング張り

(19.5.2～19.5.7)(表19.5.1～表19.5.4)

品名	樹種	等級	板厚	工法	仕上塗装
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾎﾞｰﾄﾞ	・なら	・1等	※15	・釘留め工法	・塗装品
	・	・	・	・接着工法	・無塗装品
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ	・なら	・1等	※15	・ﾓﾙﾀﾙ埋込工法	・
	・	・	・	・接着工法	・
⊙天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	⊙なら	※C種	⊙14	※釘留め工法	※塗装品
	⊙かば	⊙A種	・	・接着工法	・無塗装品
・	・	A種同等	⊙17.5	⊙接着工法	⊙塗装品

12 畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)

適用箇所	畳の種別
標仕表12.4.1による床組	・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　⊙Ｄ種(※KT-Ⅲ・　)
ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ床下地	・Ｃ種　・Ｄ種(※KT-Ⅲ・　)

13 せっこうボード その他のボード張り

(19.7.2)(表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ(mm)・規格等
・硬質木毛ｾﾒﾝﾄ板	ＨＷ	・15　・20　・25
・普通木毛ｾﾒﾝﾄ板	ＮＷ	・15　・20　・25
⊙化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	０．８ＦＫ	⊙ 6　ﾀｲﾌﾟ2(無石綿)
⊙ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板	ＤＲ	※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9.0　・12.0　・　） ⊙凹凸ﾀｲﾌﾟ（※12.0　⊙15.0）（(個)不燃）
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｒ	⊙9.5（準不燃）　⊙12.5（不燃）
⊙不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－ＮＣ	9.5(不燃)　化粧無(下地張り用) 化粧有(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様)
⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｓ	・9.5（準不燃）　⊙12.5（準不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	ＧＢ－Ｒ	・12.5（不燃）　・21.0（不燃）
・難燃合板		
・		

軽量鉄骨下地ﾎﾞｰﾄﾞ遮音壁の遮音ｼｰﾙ材 (19.7.2)(表9.7.1)

※適用する　・適用しない

・せっこうボードの目地処理 (表19.7.5)

目地処理の処理	施工箇所
⊙継目処理工法	壁紙下地
・突付け工法	
・目透し工法	

14 吸音材

(表19.7.1)

種類	記号	厚さ(mm)
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	ＲＷ－Ｂ	※25　・
※ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ2号32K	ＧＷ－Ｂ	※25　・

15 壁紙張り

(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	備考
	紙製	織物	ﾋﾞﾆﾙ	化学繊維	無機質		
図示	・	・	⊙	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃・難燃	

素地ごしらえ (19.8.3)(表18.2.4)(表18.25)(表18.2.7)

ﾓﾙﾀﾙ､ｺﾝｸﾘｰﾄ面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面　※Ｂ種　・Ａ種（施工箇所：　　）

16 断熱材

発泡剤による種別　※Ａ種（現場発泡の場合はＡ種１） (19.9.2)(19.9.3)

種類		施工箇所	厚さ(mm)	品質等
⊙押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板	※2種b	※一般部	※25 ・	
	※3種b（ｽｷﾝ層付け）	※接地部分 ・	※25 ・	1階スラブ下
・現場発泡断熱材		※断熱材補修部分	―	難燃性を有するもの
		・一般部 ・	※15 ・	
・断熱材兼用型枠		・壁(図示の範囲) ・	※40以下 ・	断熱抵抗 =厚さ/熱伝導率 =0.676以上 (t･㎡･kl/w)
		製造所　建設技術評価「建築物の断熱材兼用型枠工法の開発」において、評価を取得したもの		

20 ユニット及びその他工事

① 基本要求品質

(20.1.2)

特記以外の建物内部に使用するユニット及びその他工事の既製品等の品質、又は製品を構成する材料のホルムアルデヒドの放散量はＦ☆☆☆☆を基本とする。なお該当する材料等がない場合において、Ｆ☆☆☆☆以外の材料等を使用する場合は監督員の承諾を受けること。

２ 耐震スリット

方向	表面仕上げ	耐火性能	防水性能
・垂直方向	※完全(全貫通型)ｽﾘｯﾄ	・耐火型	・有り
・水平方向			・無し

③ ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ

	目地材	目地寸法(mm)
内壁（幅×深さ）	ｼｰﾘﾝｸﾞ材（見え掛かりのみ）	※20×10
外壁（幅×深さ）	ｼｰﾘﾝｸﾞ材（内外とも）	※20×10

(20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能注(1)	表面仕上げ材注(2)
事務室	⊙ﾊﾟﾈﾙ構法	⊙100	⊙1.0G	⊙3,000N	⊙帯電防止床ﾀｲﾙ
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ
	・ﾊﾟﾈﾙ構法	・	・1.0G	・3,000N	・帯電防止床ﾀｲﾙ
	・溝構法	※50未満	・0.6G	・5,000N	・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ

注1：耐荷重性能5,000Nについては、国土交通省の建設技術評価「耐震型ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱの開発」において評価を取得したもの又は同等のものとする。

注2：表面仕上げ材の品質・規格等は、19章内装工事による。

ｽﾛｰﾌﾟ及びﾎﾞｰﾀﾞｰ

※製造所の標準仕様（ただし、構成材は標仕20.2.2(b)(2)による）

・図示

ｺﾝｾﾝﾄ等の取付け対応

仕様　※製造所の標準仕様（ｺﾝｾﾝﾄ本体は別途設備工事）

ｺﾝｾﾝﾄの箇所数　※10～15㎡に1箇所程度

配線用取出しﾊﾟﾈﾙ

ﾌﾘｰｱｸｾｽﾌﾛｱ全体面積に対する設置割合　※20～30%

配線取り出し開口　※40mm×80mm程度の開口

空調用吹き出しﾊﾟﾈﾙ

※無し

・有り（※固定式　・可変式　：施工箇所は図示）

４ 可動間仕切り

(20.2.3)

構造形式	ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm)	表面材種 厚さ(mm)	仕上げ	遮音性(JISによる記号)
※ﾊﾟﾈﾙ式 ・ｽﾀｯﾄﾞ式 ・ｽﾀｯﾄﾞﾊﾟﾈﾙ式	・	※鋼板 (※0.6　・0.8) ・	※ﾒﾗﾐﾝ樹脂又はｱｸﾘﾙ樹脂焼き付け ・	・有り

不燃材料の認定　・有り

５ 移動間仕切り

(20.2.4)

遮音性能による区分厚さ(mm)		表面材	表面仕上げ	操作方法
⊙一般ﾀｲﾌﾟ		※鋼板 ⊙合板	・焼付け塗装 ⊙シート貼	⊙手動式　・電動式 ・部分電動式
・遮音ﾀｲﾌﾟ(注1)		※鋼板	・焼付け塗装	・手動式　・電動式 ・部分電動式

注1：JIS A 1416による試験方法において、中心周波数500Hzの音の透過損失が36dB以上の性能を有するものとする。

注2：表面仕上げの壁紙張りの品質は１９章内装工事　１５壁紙張りによる。

パネル圧接装置操作方法　※製造所標準仕様　・

６ トイレブース

表面仕上げ材　⊙ﾒﾗﾐﾝ樹脂系化粧板（標準色　ｱﾙﾐ製ｺｰﾅｰｴｯｼﾞ付き） (20.2.5)

・ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系化粧板

脚部(ｽﾃﾝﾚｽ製)　※幅木ﾀｲﾌﾟ　・支柱ﾀｲﾌﾟ

ﾄﾞｱｴｯｼﾞ　※ﾌﾗｯﾄ形　⊙曲面形

７ 階段滑止め

材　種　※ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)　・ｱﾙﾐ (20.2.6)

形　状　※ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ入り

両端ﾌﾗｯﾄｴﾝﾄﾞ　※有り（ｽﾃﾝﾚｽ製　※ﾋﾞﾆﾙ製）　・無し

・ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾔ無し

幅(mm)　・30　⊙35　・40　・

取付け方法　※接着工法　・埋め込み工法

８ 階段手すり

種別	施工箇所
※集成材ｸﾘｱﾗｯｶｰ仕上げ(市販品) 径　・38mm　・45mm　・60mm	
⊙ビニル製手すり(幅　約34mm)	階段

９ 黒板及びホワイトボード

(20.2.8)

種類	寸法(mm)	備考
・黒板　※焼付け		※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
⊙ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ　※ほうろう	900×1,200	※平面　・曲面　・ｽｸﾘｰﾝ付引分
	900×1,800 行事	⊙平面

10 ブラインド

(20.2.12)

形式	種類	ｽﾗｯﾄの材質	ｽﾗｯﾄの幅(mm)
※横形	※ｷﾞｱ式　・ｺｰﾄﾞ式 ⊙操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金 ・	※25
・縦形	・1本操作ｺｰﾄﾞ ※2本操作ｺｰﾄﾞ	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100

11 ﾌﾟﾗｲﾝﾄﾞﾎﾞｯｸｽ及びｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ

※市販品（ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　押出し型材）

使用区分	溝幅×深さ（mm）
・横形ﾌﾟﾗｲﾝﾄﾞ	※90×150　・120×150　・
・縦形ﾌﾟﾗｲﾝﾄﾞ	※120×80　・150×80　・
・ｶｰﾃﾝ（又はﾚｰｽ共）	※150×80　・180×80　・
・ｶｰﾃﾝ＋横形ﾌﾟﾗｲﾝﾄﾞ	※180×150　・

色彩　・Ｂ－１　・Ｂ－２（・ﾌﾞﾗｳﾝ系　・ﾌﾞﾗｯｸ　・ｽﾃﾝｶﾗｰ）

・図示

12 ロールスクリーン

(20.2.13)

操作方法	ｽｸﾘｰﾝの種類	品質等
・ﾌﾞﾙｺｰﾄﾞ式(ｽﾄｯﾊﾟｰ付き)	・無地	
・ﾜﾝﾀｯﾁﾁｪｰﾝ式	・柄物	
・ﾁｪｰﾝ式	・遮光ﾀｲﾌﾟ	
・電動式	・	

13 カーテン及びカーテンレール

カーテン (20.2.14)

施工箇所	形式		装置			名称・品質	ひだの種類	備考
	片引	引分	電動	ひも引	手引			
図示	⊙	⊙	・	・	⊙	学校用		
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			
	・	・	・	・	・			

カーテンレール (20.2.14)

材種　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製　・ｽﾃﾝﾚｽ製

形式　・片引き　・引分け（※暗幕用は300mm以上の召合せの重ね掛けとする）

1組の本数　・ｼﾝｸﾞﾙ　・ﾀﾞﾌﾞﾙ　・図示

14 ピクチャーレール

ﾚｰﾙ　材質　ｱﾙﾐﾆｳﾑ製(ｼﾙﾊﾞｰ)

形式　先付け天井埋込型(見切線兼用)

ﾗﾝﾅｰ　材質　本体：真鍮製　ﾌｯｸ：ｽﾃﾝﾚｽ製(可動式)

耐荷重　25kg程度／個

個数　２個／ﾚｰﾙ１ｍ

15 天井点検口

目地形状	適用箇所	寸法(mm)
⊙額縁ﾀｲﾌﾟ	下記以外全て	※450×450
・目地ﾀｲﾌﾟ	※図示 ・天井仕上げ材がDRの範囲	・600×600

16 床点検口

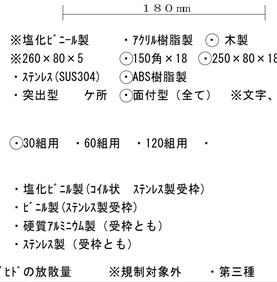
本体の材質	目地の材質	適用箇所	寸法(mm)
※ｱﾙﾐ製	※ｱﾙﾐ　・ｽﾃﾝﾚｽ　・黄銅	下記以外全て	※600×600
・ｽﾃﾝﾚｽ製			・

17 積雪表示板

※塩化ﾋﾞﾆﾙ製（白）、ｽﾃﾝﾚｽｽﾅｯﾄ(10mm)４本詰め、文字入れ共

取付け場所（・図示　⊙監督員の指示による　）

寸法　１８０×１６０×５



18 室名札

材種　※塩化ﾋﾞﾆｰﾙ製　・ｱｸﾘﾙ樹脂製　⊙ 木製

寸法　※260×80×5　⊙150角×18　⊙250×80×18　⊙300×100×18

受金具　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS304)　⊙ABS樹脂製

形式　・突出型　ケ所　⊙面付型（全て）　※文字、イラスト書込み

19 かぎ箱

市販品

形　式　⊙30組用　・60組用　・120組用　・

20 くつふきマット

市販品

材　質　・塩化ﾋﾞﾆﾙ製(ｺｲﾙ状　ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)

・ﾋﾞﾆﾙ製(ｽﾃﾝﾚｽ製受枠)

・硬質ｱﾙﾐﾆｳﾑ製（受枠とも）

・ｽﾃﾝﾚｽ製（受枠とも）

21 流し台ユニット

ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞの放散量　※規制対象外　・第三種

種類	寸法(L=mm)	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200　・1500　・1800	ﾄﾗｯﾌﾟ付き	・優良住宅部品
・ｺﾝﾛ台	※600　・700　・	ﾊﾞｯｸｶﾞｰﾄﾞ　※有り	(ｾｸｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝⅠ型)
・つり戸棚	※1200　・900　・600		・市販品
・水切り棚	※1200　・900	ｽﾃﾝﾚｽ製　※1段式	※市販品

22 屋内掲示板

枠の材質　※ｱﾙﾐﾆｳﾑ製

表面の材質　※特殊発砲ﾋﾞﾆﾙ張り

23 洗面カウンター

材　種　・ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板張り（芯材：集成材）・人工大理石（品質　※図示）

奥行き(mm)　・約450　・約600

24 敷地境界石標

・かこう岩（文字記号等入り）

※ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ製の市販品程度

21 排水工事

① 排水管

排水管用材料 (21.2.1)(表21.2.1)(21.3.3)

材種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ管	※外圧管（※１種　・２種）	Ｂ形（ｺﾞﾑ接合）
⊙硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管	※ＶＰ　・ＶＵ ・ＲＳ－ＶＰ　・ＲＳ－ＶＵ	
・		

仕様書(そのⅢ)

〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337　FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所
新潟県知事　登録（　）第197号
一級建築士
大臣登録　第151507号　安達 俊明

設計	検図	承諾	設計年月日
本間	丸山	安達	平成２７年０３月

図面サイズ	縮尺
Ａ１	―
Ａ３	―

		種別	図面番号
工事名称	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	AA	04
図面名称	建築工事特記仕様書（３）		

21 排水工事

② 排水桝及びふた

鋳鉄製ﾏﾝﾎｰﾙふた (21.2.2)

種類		適用荷重
・水封形	・密閉形(ﾃｰﾊﾞｰ・ﾊﾞｯｷﾝ式)	・Ｔ－２用
・簡易気密形(ﾊﾞｯｷﾝ式)	・中ふた付密閉形	・Ｔ－６用
		・Ｔ－20用

ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞふた (21.2.2)

材質	形式	種類	適用荷重	ﾒﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	上面形状
⊙鋼製	※受枠付き	・溝ふた用	・歩行用	※細目	※凹凸形
・ｽﾃﾝﾚｽ製	⊙可変側溝用	・桝ふた用	・T- 2用	※普通目	※平形
	ﾎﾞﾙﾄ固定	⊙かさ上げ用	⊙T- 6用		
	※無し	・Ｕ字溝用	⊙T-14用	※細目	⊙凹凸形
	・図示		・T-20用		

③ 埋戻し土

※Ｂ種　・建設汚泥から再生した処理土 (21.2.3)

22 舗装工事

① 盛土に用いる材料

⊙Ａ種 ⊙Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 (22.2.3)(表3.2.1)

② 凍上抑制層の材料

※再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ ・ ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ 切り込み砂利 (22.2.3)

③ 路床安定処理

※添加材料による安定処理 (22.2.2)(22.2.3)(表22.2.2)

種類 ・普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ ・ﾌﾗｲｱｯｼｭｾﾒﾝﾄB種

・高炉ｾﾒﾝﾄB種 ・生石灰(　　) ・消石灰(　　)

添加量　　kg／m3(目標ＣＢＲ ※5 ・)

・ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙによる安定処理

ｼﾞｵﾃｷｽﾀｲﾙの品質

単位面積質量 60g/㎡以上　　厚さ(mm) 0.5～1.0

引張り強さ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水計数 0.15cm/sec以上

④ 路床の試験

・支持力試験を行う（※乱した土 ・ 乱さない土) (22.2.5)

・路床締固め度の試験を行う

・砂の粒度試験を行う

⑤ 路盤材料

※再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC－40) ・再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(ARC－40) (22.3.3)(表22.3.3)

・ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(Ｃ－40)又はｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ鉄鋼ｽﾗｸﾞ(ＣＳ－40)

・粒度調整砕石

⑥ 路盤の締固め度試験

※行う (22.3.5)

⑦ アスファルト舗装

(22.4.2)(表22.4.1)

舗装の種類	車道部の基層	ｶﾗｰ舗装の種類
※ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物
・ｶﾗｰ舗装	※無し ・有り	

ｶﾗｰ舗装の着色骨材 ・有色骨材（焼成） ・着色骨材（樹脂被覆）

ｱｽﾌｧﾙﾄ ※再生ｱｽﾌｧﾙﾄ ・ｽﾄﾚｰﾄｱｽﾌｧﾙﾄ (22.4.3)

加熱ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物等の種類 (22.4.4)(表22.4.5)

区分	・一般地域	※寒冷地域
表層	※密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)	※密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13F)
	・粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13)	・細粒度ｷﾞｬｯﾌﾟｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(13F)
基層	・粗粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物(20)	

ｼｰﾙｺｰﾄ ※行わない ・行う(施工範囲：　　) (22.4.5)

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6)

⑧ コンクリート舗装

早強ｾﾒﾝﾄ ※使用しない ・使用する (22.5.3)

注入材料 ※低弾性ﾀｲﾌﾟ ・高弾性ﾀｲﾌﾟ (22.5.3)(表22.5.3)

溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3)(22.5.4)

⑨ カラー舗装

(22.6.2)(表22.6.1)

	舗装の種類	部位	厚さ
※加熱系	・アスファルト混合物 ・石油樹脂系混合物	・車道	・
・常温系	・樹脂系混合物 ・塗布工法 ・ニート工法	・歩道	・

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.6.6)

10 透水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験 ※行わない ・ 行う (22.7.6)

厚さ試験 ※行わない ・ 行う

11 排水性ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

排水性舗装用ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物 (22.8.3)(表22.8.1)

※ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅡ型 ・ ﾎﾟﾘﾏｰ改質ｱｽﾌｧﾙﾄⅠ型

ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.8.6)

12 ブロック系舗装

・ｺﾝｸﾘｰﾄ平板舗装 (22.9.2)(22.9.3)

種類		寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材
※普通平板(Ｎ)	・ｶﾗｰ平板（Ｃ）	※300角	※60	※砂
・洗出平板（Ｗ）	・擬石平板（Ｓ）			・ﾓﾙﾀﾙ

・ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ舗装 (22.9.2)(22.9.3)

種類	曲げ強度	厚さ(mm)	表面加工及び色彩等
※普通ﾀｲﾌﾟ	5.0N/mm2以上	車道部 ※80 ・	※標準ﾀｲﾌﾟ
・誘導、注意喚起用ﾀｲﾌﾟ	3.0N/mm2以上	歩道部 ※60 ・	・表面化粧ﾀｲﾌﾟ
・透水性ﾀｲﾌﾟ			誘導、注意喚起用
・植生ﾀｲﾌﾟ	4.0N/mm2以上	※80 ・ 100	は黄色とする

・舗石舗装 (22.9.2)(22.9.3)

種類	厚さ(mm)	施工方法	基層
※小舗石（花崗岩）	※80～100	※うろこ張り	※ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装
・	・	・	・ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装

22 舗装工事

13 区画線

路面表示用塗料

規格番号	種類	施工時の条件	適用	寸法(mm)	適用
JIS K 5665	・１種	常温	液状	幅 ※150	※白
	・２種	加熱			・黄
	※３種１号	溶融	粉体状	厚さ ※1.0	

揮発性有機溶剤の含有率は、塗料総質量に対して5%以下とする。

23 植栽工事

1 土壌の酸度、水溶性塩類(EC)の試験

※行う (23.1.3)

2 樹木の植栽基盤整備

芝及び地被類 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

適用	有効土層の厚さ(mm)	工法	整備範囲
※行う ・行わない	※20 ・	※B種 ・	※植栽範囲 ・図示

樹木 (23.2.2)(23.2.3)(表23.2.1)(表23.2.2)

樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲
・12以上	※100 ・	※A種	※葉張りの範囲
・7以上～12未満	※80 ・	・B種	ただし、低木は植栽範囲
・3以上～7未満	※60 ・	・C種	・図示
・3未満	※50 ・	・D種	

工法Ｄ種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

③ 植込み用土

※現場発生土の良質土 ⊙客土（※畑土 ・黒土) (23.2.3)

④ 土壌改良材

※適用する (23.2.3)(23.2.4)

施工箇所 ※植栽範囲 ・図示

5 支柱材

※防腐処理杉丸太 ・杉の焼き丸太 ・竹 (23.3.2)

6 幹巻き用材料

※幹巻き用ﾃｰﾌﾟ ・わら及びこも (23.3.2)

7 芝張り

種類 ※こうらい芝 ・野芝 (23.4.2)

⑧ 枯補償及び枯損処理

期間 ※引渡しの日から１年間 (23.3.4)(23.3.6)(23.4.7)(23.5.5)

・ 年間 ・ 年 月 日迄

9 屋上緑化システム

土壌層 ※改良土 ・人工軽量土 (23.5.2)(23.5.3)

厚さ mm

保水・排水層 ・軽量骨材層（厚さ mm) ・板状成形品 (23.5.3)

※「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造体力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」(平成12年5月31日付け 建設省告示第1458号)による風圧力に対応した固定工法を標仕1.2.2[施工計画書]による品質計画で定める

24 追加特記

1 公共事業労務費調査への協力

※協力する

2 工事監理方式

共同監理 ・ 有り ・ 無し

3 適用基準等

・営繕工事電子納品要領（案）（国土交通省大臣官房官庁営繕部営繕計画課監修）

※工事運行マニュアル（新潟県土木部都市局営繕課作成）

・

④ 総合図

※作成する

5 工事成績評定

※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。

（様式等は、工事運行マニュアルによる。）

⑥ 排出ｶﾞｽ対策型等建設機械

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ｶﾞｽ対策型建設機械指定要領（平成３年１０月８日付建設省経機発第249号)」に基づき指定された排出ｶﾞｽ対策型建設機械を使用するものとする。排出ｶﾞｽ対策型建設機械を使用できない場合は、平成７年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ｶﾞｽ浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ｶﾞｽ浄化装置を装着(黒煙浄化装置付)することで、排出ｶﾞｽ対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機種	備考
一般工事用建設機械	
・バックホウ	ﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ(ｴﾝｼﾞﾝ出力7.5KW以上260KW以下)を搭載した建設機械に限る。
・トラクタショベル（車輪式）	
・ブルドーザ	
・発動発電機（可搬式）	
・空気圧縮機（可搬式）	
・油圧ユニット類	
以下に示す基礎工事用機械のうち、ﾍﾞｰｽﾏｼﾝとは別に独立したﾃﾞｨｰｾﾞﾙｴﾝｼﾞﾝ駆動の油圧ﾕﾆｯﾄを搭載するもの	
油圧ﾊﾝﾏ・ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏ・油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、ｱｰｽｵｰｶﾞ、ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機、ﾘﾊﾞｰｽｻｰｷｭﾚｰｼｮﾝﾄﾞﾘﾙ、ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ、地下連続壁施工機、全回転型ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ掘削機	
・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ	
・ホイールクレーン	
※上記建設機械は、低騒音・低振動型とする。	

24 追加特記

⑦ 工事区分表

注)原則○印を適用する。ただし、複数記載してある項目についての区分はその項目を必要とする施工者に適用する。

項目		建	電	空	衛	昇	備考
躯体関係							
1.RC造(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通ｽﾘｰﾌﾞ材及び取付け	○	○	○	○	○	
	補強を要する型枠材及び取付け	○					
	補強を要しない型枠材及び取付け	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	防火区画、防煙区画
	貫通孔・開口部の補強	○					
	ｽﾘｰﾌﾞ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○	
2.S・SRC造・はり貫通口	S・SRC造貫通鋼管鋼管ｽﾘｰﾌﾞ・補強	○					
	使用されたｽﾘｰﾌﾞの穴埋め	○	○	○	○	○	
	予備ｽﾘｰﾌﾞの穴埋め	○	○	○	○	○	
3.設備機器の基礎	建築設計図に記入のあるもの	○					
	室内の基礎（建築設計図に記入のないもの）		○	○	○		
	屋外・屋上の基礎	○					
	屋上基礎で押さえｺﾝｸﾘｰﾄしない軽微なもの		○	○	○		
	機器取付け用ｱﾝｶｰ・架台		○	○	○		
	屋内受水ﾀﾝｸ用の基礎	○					
仕上げ関係							
軽鉄天井・壁下地	補強を用するﾎﾞｰﾄﾞの切り込み及び下地の補強	○					
	補強を要しないﾎﾞｰﾄﾞの切り込み		○	○	○		
	開口部の墨出し		○	○	○		
電気関係							
電気配管配線	機器付属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○	○		二次側
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線		○				一次側
	機器付属操作スイッチの取付及び渡り配管配線			○	○		
その他（工事区分を特に間違えやすい項目）							
天井材	取外し再取付(各種配管配線作業用)	○	△	△	△		小規模は要協議
床はつり補修	各種配管配線作業用	○	△	△	△		小規模は要協議
流し台、ガス台		○					
便所手洗いｶｳﾝﾀｰ		○					衛生陶器は衛生設備
洗面化粧台					○		
ガス漏れ警報器					○		
24h換気扇	機器納入				○		取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備
湯沸器	機器納入				○		取付は電気設備
連動スイッチ	取付		○				機器納入は衛生設備

8 発生材の処理等

1 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称	
工事場所／施設所在地	
連絡先	
仮置場所の有無	
備考	

4 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとして積算している。

搬出する廃棄物名	
処理施設名称	
施設所在地	
連絡先	
備考	

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5 建設リサイクル法の対象建設工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、同法第１８条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに監督員に報告し、協議すること。

24 追加特記

⑨ 化学物質の濃度測定

1)測定時期

・測定時期は家具設置等の別途工事が行われる前とする。ただし、内装又は塗装等の施工が終了し、その後十分な換気が行われていること、及び中央式空気調和設備のように換気を行いながら空気調和を行う設備がある場合は、設備の試運転が終了していることとする。

・測定時期は工事完了時とする。なお、内部工事期間等が特記されている場合は、内部工事完了時と工事完了時に、それぞれ行う。

※測定時期の決定は、測定結果が指針値を超えた場合に、６）の措置を講じる時間を見込むこと。

2)測定対象物質

※ホルムアルデヒド （指定値0.08ppm以下）

※トルエン （指定値0.07ppm以下）

※キシレン （指定値0.2ppm以下）

※エチルベンゼン （指定値0.88ppm以下）

※スチレン （指定値0.05ppm以下）

・パラジクロロベンゼン （指定値0.04ppm以下）

3)測定室

⊙1階 ＬＤＫ ⊙ 多目的 室 (測定箇所 2 箇所)

⊙2階 ＬＤＫ ⊙ 室 (測定箇所 2 箇所)

4)測定方法

測定機器

※ﾊﾟｯｼﾌﾞ型採取機器

⊙監督員の承諾する機器

測定要領

※測定前の措置

測定を開始する前に、測定対象室のすべての窓及び扉（造りつけ家具、押入等の収納部分の扉を含む。）を開放し、３０分間換気する。その後、測定対象室のすべての窓及び扉を５時間閉鎖する。ただし、造りつけ家具、押入等の収納部分の扉は開放したままとする。

※ 測定は次のイ～ハにより。

イ 上記測定前の措置の状態のままで測定する。

ロ 測定時間は、原則として２４時間とする。ただし、工程等の都合により、２４時間測定が行えない場合は、８時間測定とする。なお、８時間測定の場合は、午後２時～３時が測定時間帯の中央となるよう１０時３０分から１８時３０分までの時間帯で測定する。

ハ 測定回数は１回とし、複数回の測定は不要とする。

※その他

上記測定前の措置及び測定においては、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。

5)測定結果の分析

※測定対象化学物質を採取したﾊﾟｯｼﾌﾞ型採取機器を分析機関に送付し濃度を測定する。

6)測定結果が指針値を超えた場合の措置

※測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度４）、５）により、測定を行う。

7)報告書の提出

※完了検査日までに報告書を提出する。

⑩ 隣地借地について

※隣地賃貸借契約について

1、場 所：三条市西本成寺１丁目３１９３番１（面積：１１０６㎡）

2、期 間：平成２７年８月より平成２８年３月まで（８箇月予定）

3、目 的：本工事建設に伴う現場事務所及び建設にかかわる資材置き場等。

4、特 約：賃貸期間中、シートを敷いて土地を痛めない用注意を払う事。
賃貸終了後、農地として耕作出来る状態にする事。（契約者確認必須）
尚、借地使用内容に疑義が生じた場合は、仲介業者に報告
相談する事。
上記の内容にて「有限会社 郁 」様より了解を頂いている為、
賃料他（作付保障、仲介手数料）について上記業者に見積り依頼の事。
尚、工事業者（落札者）は、有限会社 郁 よりの見積書通りの
契約（支払い）をする事。

※農地転用について

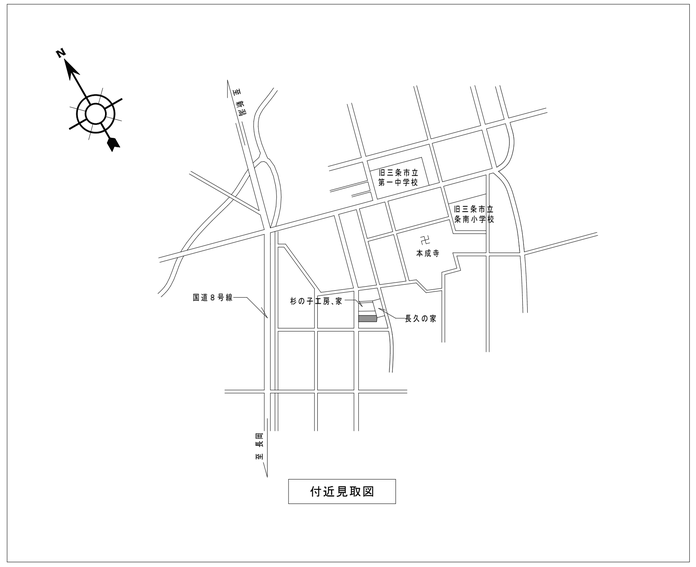
1、農地一時転用手続きは不用とする。

仕様書(そのIV)

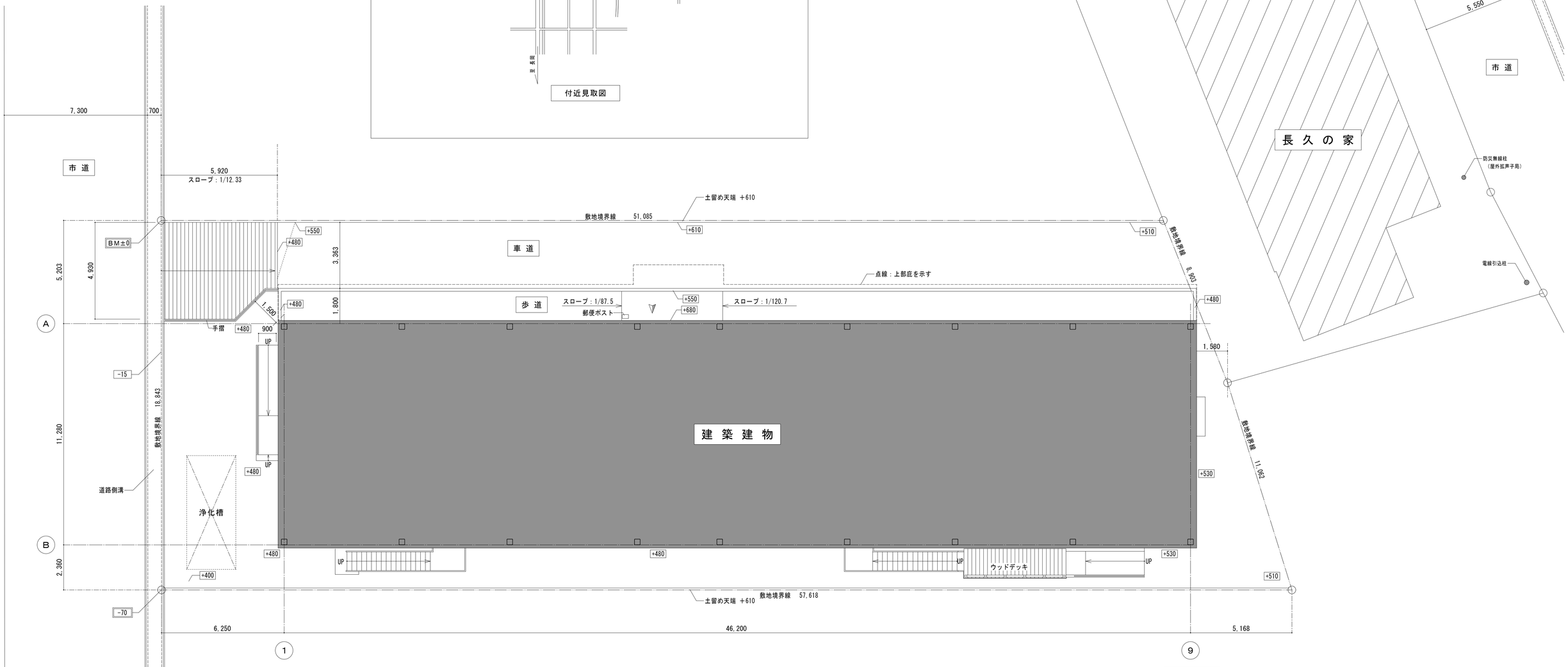
〒955-0081 新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337 FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所 新潟県知事 登録（ ）第197号
一級建築士 大臣登録 第151507号 安達俊明

設計	検図	承認	設計年月日	図面サイズ	縮尺	工事名称	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	種別	図面番号
本間	丸山	安達	平成２７年０３月	Ａ１	－			AA	05
				Ａ３	－	図面名称	建築工事特記仕様書（４）		



付近見取図



配 置 図　S＝1/100

凡 例

- ：建築建物を示す
- ：既存建物を示す
- BM±0 ：BMを示す
- ＋*** ：BMよりの現況地盤高さを示す
- ＋*** ：BMよりの計画地盤高さ及び建物床高さを示す

面 積 表

敷地面積	1,027.85㎡	310.92坪
建築面積	583.19㎡	176.41坪
1階床面積	533.79㎡	161.47坪
2階床面積	447.55㎡	135.38坪
延床面積	981.34㎡	296.86坪

※ 敷地面積はＣＡＤ計測 （JW_CAD Version 7.11）

〒955-0081 新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337 FAX：0256-33-4166
一級建築士事務所 新潟県知事 登録（ ）第197号
一級建築士 大臣登録 第151507号 安達俊明

設計	検図	承認	設計年月日	図面サイズ	縮尺	工事名称	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	種別	図面番号
本間	丸山	安達	平成２７年０３月	A１	S＝1／100			AA	06
				A３	S＝1／200	図面名称	付近見取図、配置図		

外部仕上表

区分		仕上
屋根	本屋	横葺（ｶﾗｰｽﾃﾝﾚｽ板(ｱ)0.35、働き巾：303、２段式）　下地：ゴムアス系ルーフィング(ｱ)1.0　下地：耐火野地板(ｱ)18（ニチハ㈱　同等品）
		雪止めアングル：Ｌ－50×50×4（溶融亜鉛メッキ品）片側３段（両側計４段　ＳＯＰ塗装）　受金具：溶融亜鉛メッキ品　@910
	下屋	ハゼ式折板葺（カラーガルバリウム鋼板(ｱ)0.8、山高：162以上、ピッチ：500）　裏打ち材：折板用耐火断熱材(ｱ)8　※軒先カット
		雪止めアングル：Ｌ－50×50×4（溶融亜鉛メッキ品）３段　ＳＯＰ塗装（内、２段はバレーガード付）　受金具：溶融亜鉛メッキ品　@500
飾三角屋根（本屋）	屋根	横葺（ｶﾗｰｽﾃﾝﾚｽ板(ｱ)0.35、働き巾：303、２段式）　下地：ゴムアス系ルーフィング(ｱ)1.0　下地：耐火野地板(ｱ)18（ニチハ㈱　同等品）
		雪止めアングル：Ｌ－50×50×4（溶融亜鉛メッキ品）１段　ＳＯＰ塗装　受金具：溶融亜鉛メッキ品　@910
	小壁	金属製断熱サイディング(ｱ)15（アイジーガルスパンSEiフッ素同等品）　下地：透湿性防水シート張り　下地：ＰＢ(ｱ)12.5
破風板、鼻隠し	本屋	カラーステンレス板(ｱ)0.8包み　下地：鋼製及軒樋受用木製板280×30防腐処理材）
	三角屋根	カラーステンレス板(ｱ)0.8包み　下地：鋼製
下屋パラペット	正面	アルミ製　Ｗ＝225　捨笠木：ガルバリウム鋼板(ｱ)0.4　下地：透湿性防水シート巻込
	裏面	角波カラーガルバリウム鋼板(ｱ)0.4　竪張　下地：透湿性防水シート張　下地：ＰＢ(ｱ)12.5
軒裏		けい酸カルシウム板(ｱ)6.0　目透し　ＥＰ塗　下地：ＬＧＳ２５形
外壁		押出成形セメント板(ｱ)20 横張、巾303（金具留め工法、10mm浮かし）　ウッドコート塗装品　下地：透湿性防水シート張　下地：ＰＢ(ｱ)12.5　ロックウール吹付（ｱ）30
地覆		防水形複層塗材Ｅ吹付　下地：コンクリート打放し
建具		アルミサッシ（鉄骨用外付、アミ戸付）　玄関：フロントサッシ（自動ドア）
軒樋	本屋	高耐候性樹脂製（パナソニック　アーキスケアE マイルドE-I型同等品）　落し口：自在ドレン　樋受け金物：専用品（ポリカボネート製　@455）
	下屋	耐候性向上樹脂製（パナソニック　エアロアイアン前高130WIDE同等品）　落し口：自在ドレン　樋受け金物：ステンレス製折板用（内吊）@500

区分	仕上
縦樋	本屋　高耐候性樹脂製（パナソニック　たてといPC30同等品）　樋受け金物：ステンレス製（たてとい専用品）　@909　下部塩ビ製排水カバー
	下屋,庇　耐候性向上樹脂製（パナソニック　たてとい75同等品）　樋受け金物：ステンレス製　@909　下部塩ビ製排水カバー
庇屋根	立平葺（ｶﾗｰｽﾃﾝﾚｽ板(ｱ)0.35、働き巾390、ｾｷ/興産S&W工法同等品）　下地：ｺﾞﾑｱｽ系ﾙｰﾌｨﾝｸﾞ(ｱ)1.0　下地：耐火野地板(ｱ)12（ニチハ㈱　同等品）　下地：シージングボード(ｱ)12
〃パラペット	幕板、笠木：カラーアルミパネル(ｱ)2.0　折曲加工（グライト裏打）
〃天井	けい酸カルシウム板(ｱ)6.0　目透し　ＥＰ塗　下地：ＬＧＳ２５形
〃谷樋	高級耐酸性被覆鋼板（ｱ)0.8　自在ドレイン75φ（一般管用）　下地：ＦＢ－50×6　@455
〃縦樋	耐候性向上樹脂製（パナソニック　たてとい75同等品）　樋受け金物：ステンレス製　@909　下部塩ビ製排水カバー
断熱材	１階スラブ下：合成樹脂発泡材(ｱ)25　1、2階天井裏：グラスウール敷込み：24Kg品、(ｱ)100
	外壁ＰＢ裏、耐火野地板下面、折板屋根裏面：ロックウール吹付(ｱ)30（母屋、受梁共）
スロープ	床：モルタル塗金鏝、スロープ部：コンクリート直均し粗面仕上　ボーダー：コンクリート打放しＨ＝100　ステンレス製手摺　Ｈ＝700（片側）
	出入口部分：グレーチング1720×250×19（溶融亜鉛メッキ品、三方受アングル、細目ノンスリップ）　排水溝：防水モルタル塗（Ｗ＝200、Ｈ＝150）
キュービクル置場	床：コンクリート直均し仕上
	壁：外壁現し（押出成形セメント板(ｱ)20 横張、巾303（金具留め工法、10mm浮かし）　ウッドコート塗装品　下地：透湿性防水シート張り　下地：ＰＢ(ｱ)12.5）
	天井：ケイ酸カルシウム板(ｱ)12　ＥＰ

建物概要

工事名	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事
建築場所	三条市西本成寺一丁目3209番　地内
主要用途	児童福祉施設等
構造	鉄骨造２階建
用途地域	第1種住居地域
耐火区分	準耐火建築物
防火地域	指定なし
敷地面積	1,027.85 ㎡
建築面積	583.19 ㎡
１階床面積	533.79 ㎡
２階床面積	447.55 ㎡
延床面積	981.34 ㎡

内部仕上表

階	室名	床 下地	床 仕上	巾木 下地	巾木 仕上	H	腰壁 下地	腰壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井高	室名札	備考
共用	玄関ホール	C	磁器質ノンスリップタイル300角(ｱ)10程度　下地：モルタル塗木鏝	C	御影石貼（磨き）(ｱ)20	60	ＬＧＳ	複層塗材Ｅ　ローラー塗　下地：ケイカル板(ｱ)6.0　目透し張り 下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)5.0 目透し張り　ＥＰ－Ｇ	2,550 ～ 2,650		壁手摺：半硬質樹脂製 34φ　ブラケット：アルミ製 壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600） 誘導案内：ステンレス製点字鋲（ナカユ業ベーシックステンレスタイプドットパターン） 笠木：ポストフォームカウンター(ｱ)19　ホワイトボード：アルミ枠 900×1,200
				ＬＧＳ	樹脂製車椅子巾木	200	ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 複層塗材Ｅ　ローラー塗　下地：ケイカル板(ｱ)6.0　目透し張り 下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	２階ホール	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	複層塗材Ｅ　ローラー塗　下地：ケイカル板(ｱ)6.0　目透し張り 下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	岩綿吸音板（リブ付）(ｱ)15 周囲岩綿吸音板（フラット柄）(ｱ)9　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,660		吹抜け手摺（自立型）：笠木～半硬質樹脂製 34φ、手摺子～スチール焼付塗装品 22φ
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 複層塗材Ｅ　ローラー塗　下地：ケイカル板(ｱ)6.0　目透し張り 下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	階段	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	複層塗材Ｅ　ローラー塗　下地：ケイカル板(ｱ)6.0　目透し張り 下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	岩綿吸音板（リブ付）(ｱ)15 周囲岩綿吸音板（フラット柄）(ｱ)9　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,660		壁手摺：半硬質樹脂製 34φ　ブラケット：アルミ製 側桁手摺（自立型）：笠木～半硬質樹脂製 34φ、手摺子～スチール焼付塗装品 22φ
				ＰＬ	ササラ巾木、ＤＰ塗		ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 複層塗材Ｅ　ローラー塗　下地：ケイカル板(ｱ)6.0　目透し張り 下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					段鼻：ノンスリップ（ナカハイステップＵＤ同等品）
	ＥＶピット ＥＶシャフト	C	ＥＶピット：ケイ酸質系塗布防水 下地（床面）：コンクリート直均し 下地（立上り）：コンクリート打放し補修				ＬＧＳ	外壁面：吹付けロックウール現し		屋根面ロックウール吹付け（下地耐火野地板）現し			乗用エレベーター：6人乗りタイプ
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 防水ＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	階段下物入 収納・ＰＳ	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)6.0　目透し張り　ＥＰ－Ｇ　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)5.0 目透し張り　ＥＰ－Ｇ	2,500	○（面）	階段下物入のみ天井現し　ＳＯＰ
								※防火上主要な間仕切面 ケイカル板(ｱ)6.0　目透し張り　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5			(収納、ＰＳ)		中棚：ラワン合板Ｔ１(ｱ)12　ＳＯＰ　２段（収納、ＰＳのみ）
1階地域活動支援センター	事務室	C	帯電防止ビニル床ﾀｲﾙ500角(ｱ)5.0　置敷き（ｻﾀﾞﾏﾚｲﾌﾗｯﾄﾀｲﾙALF-3000同等品）　下地：OAﾌﾛｱ H＝100（カユ業 AZ3000-DP同等品）ー部 下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	ビニール巾木 樹脂製車椅子巾木	60 200	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	岩綿吸音板(ｱ)9　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,550	○（面）	壁手摺：半硬質樹脂製 34φ　ブラケット：アルミ製 ブラインド　ホワイトボード：アルミ枠 900×1,800　月行事予定横書2列
			廊下部分：長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：コンクリート直均し仕上				ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					床見切：[－25×10×1.5（SUS304） 上り框：御影石（水磨き）(ｱ)30 巾100
	ラウンジ兼会議室	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9	60	ＬＧＳ	腰：シナ合板T2(ｱ)5.5 巾：455 OSUC 目透し張り Ｈ＝900 壁：ビニルクロス貼　腰壁、壁下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	岩綿吸音板(ｱ)9　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,832		腰見切：木製化粧廻縁材 Ｈ＝35 巾木、腰見切共：出入隅 役物使用 ブラインド
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 腰壁、壁仕上：上記に準ずる　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	相談室	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9	60	ＬＧＳ	腰：不燃化粧シート貼(ｱ)6、巾600 Ｈ＝900　(ダイケンプレミアート同等品) 壁：不燃ビニルクロス貼　腰壁、壁下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	岩綿吸音板(ｱ)9　下地：不燃ＰＢ(ｱ)9.5	2,550	○（面）	腰見切：木製化粧廻縁材 Ｈ＝35 巾木、腰見切共：出入隅 役物使用
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 腰壁、壁：上記に準ずる　腰壁、壁下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	ロッカー室	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	不燃ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,550	○（面）	
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 不燃ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	多目的室	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.8　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	ビニール巾木 樹脂製車椅子巾木	60 200	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	岩綿吸音板（リブ付）(ｱ)15　下地：ＰＢ(ｱ)9.5 周囲岩綿吸音板（フラット柄）(ｱ)9　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,717		壁手摺：半硬質樹脂製 34φ　ブラケット：アルミ製　壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600） 天井埋込式手動スクリーン：2,000×2,000（アルミボックス150×150共） 流し台、壁付収納：建築工事 窓カーテン
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	休憩室 （８帖）	C	タタミ数Ｄ種（ＫＴ－Ⅲ）(ｱ)55　下地：パーティクルボード(ｱ)20 下地：乾式遮音二重床システム（万協ﾌﾛｱｰYPGﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：コンクリート直均し仕上 板畳：天然木化粧複合フローリング(ｱ)12 下地：畳部分に準ずる ⊕ 調整根太：45×43@242	ＬＧＳ	タタミ寄せ		ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,400	○（面）	入口床：天然木化粧複合フローリング(ｱ)12（下地は畳部分に準ずる ⊕ 調整根太：45×43@242）　雑巾摺
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600）※入口板張り部分両側　上り框：松貼　150×105　塗装品
	洋室	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.8　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,550	○（面）	壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600） 窓カーテン 壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	洗濯室	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0（抗菌）　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)5.0 目透し張り　ＥＰ－Ｇ	2,500	○（面）	ステンレスネット棚（杉田エース DN5-60） ライニング笠木 シャワーカーテン 洗濯機パン、汚物流し、洗濯流し：設備工事
	多目的トイレ	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0（抗菌）　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,500	○（ピクト面）	便器、洗面器、可動手摺：設備工事 巾木取合部：アルミコ型ジョイナー掛、壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	男子トイレ	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0（抗菌）　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,500	○（ピクト面）	便器、洗面器、Ｌ型手摺、小便器手摺：設備工事　小便器前：汚垂れ石 巾木取合部：アルミコ型ジョイナー掛、壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100 壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600）
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	女子トイレ	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0（抗菌）　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,500	○（ピクト面）	便器、洗面器、Ｌ型手摺：設備工事 巾木取合部：アルミコ型ジョイナー掛、壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100 ライニング笠木 壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600）
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5＋ＰＢ(ｱ)12.5					
	収納	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)5.0 目透し張り（910×910）　ＥＰ－Ｇ	2,500		掃除流し：設備工事 巾木取合部：アルミコ型ジョイナー掛 ライニング笠木
	倉庫	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：コンクリート直均し仕上	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	ＪＰＢ(ｱ)12.5　ＥＰ－Ｇ	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,500	○（面）	
								※防火上主要な間仕切面 ＪＰＢ(ｱ)12.5 EP-G ＋ＰＢ(ｱ)12.5					

〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337　FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所
新潟県知事　登録（　）第197号
一級建築士
大臣登録　第151507号　安達俊明

設計	検図	承認	設計年月日	図面サイズ	縮尺	工事名称	種別	図面番号
本間	丸山	安達	平成２７年０３月	Ａ１ Ａ３	－ －	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事 仕上表（１）	AA	07

内部仕上表

階	室名	床 下地	床 仕上	巾木 下地	巾木 仕上	H	腰壁 下地	腰壁 仕上	天井 下地	天井 仕上	天井高	室名札	備考
1階住居部分	玄関	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：モルタル塗金鏝	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9 樹脂製車椅子巾木	60 200	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,409		壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600） 壁手摺：半硬質樹脂製 34φ　ブラケット：アルミ製 上り框：御影石(ｱ)30 巾100 水磨き
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	ＬＤＫ	C	天然木複合フローリング(ｱ)17.5（10.5+7）直張り　下地：レベルクリート(ｱ)10 （北海道パーケット工業㈱プレボードＧ50同等品）　下地：コンクリート直均し(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9 樹脂製車椅子巾木	60 200	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	岩綿吸音板(ｱ)9　下地：ＰＢ(ｱ)9.5 掘込天井：ビニルクロス貼　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,409		壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600） 壁手摺：半硬質樹脂製 34φ　ブラケット：アルミ製 流し台前カウンター：タモ集成材(ｱ)30　ＵＣ　　ＴＶ棚：タモ集成材(ｱ)36　ＵＣ　　窓カーテン（一部） 流し台、壁付収納　Ｄ＝450：建築工事
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	廊下	C	天然木複合フローリング(ｱ)17.5（10.5+7）直張り　下地：レベルクリート(ｱ)10 （北海道パーケット工業㈱プレボードＧ50同等品）　下地：コンクリート直均し(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9 樹脂製車椅子巾木	60 200	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	岩綿吸音板(ｱ)9　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,700		壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600） 壁手摺：半硬質樹脂製 34φ　ブラケット：アルミ製
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	世話人控室		天然木複合フローリング(ｱ)17.5（10.5+7）直張り　下地：レベルクリート(ｱ)10 （北海道パーケット工業㈱プレボードＧ50同等品）　下地：コンクリート直均し(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9	60	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　外壁面下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5 内壁面下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,409	○ （面）	窓カーテン（一部ロールスクリーン）
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					ホワイトボード：アルミ枠 900×1,200
	居室 （1～4）	C	天然木複合フローリング(ｱ)17.5（10.5+7）直張り　下地：レベルクリート(ｱ)10 （北海道パーケット工業㈱プレボードＧ50同等品）　下地：コンクリート直均し(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9	60	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　外壁面下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5 内壁面下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,409	○ （面）	壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600） 壁手摺：半硬質樹脂製 34φ　ブラケット：アルミ製 天井スイングフック：ステンレス製（スガツネＵＣ-０４８同等品）２ヶ所／室　　窓カーテン
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
	同上収納	C	天然木複合フローリング(ｱ)17.5（10.5+7）直張り　下地：レベルクリート(ｱ)10 （北海道パーケット工業㈱プレボードＧ50同等品）　下地：コンクリート直均し(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9	60	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,400		中棚、仕切り板、枕棚　　洋服掛けＩＣＳパイプ：３２φ（首長ソケット共）
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	居室 （5～6） （車椅子用）	C	天然木複合フローリング(ｱ)17.5（10.5+7）直張り　下地：レベルクリート(ｱ)10 （北海道パーケット工業㈱プレボードＧ50同等品）　下地：コンクリート直均し(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9 樹脂製車椅子巾木	60 200	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　外壁面下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5 内壁面下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,409	○ （面）	壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600） 壁手摺：半硬質樹脂製 34φ　ブラケット：アルミ製
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					天井スイングフック：ステンレス製（スガツネＵＣ-０４８同等品）２ヶ所／室　　窓カーテン 壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
	同上収納	C	天然木複合フローリング(ｱ)17.5（10.5+7）直張り　下地：レベルクリート(ｱ)10 （北海道パーケット工業㈱プレボードＧ50同等品）　下地：コンクリート直均し(木鏝1回)	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,400		中棚、中仕切り、枕棚　　洋服掛けＩＣＳパイプ：３２φ（首長ソケット共）
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	脱衣室	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：モルタル塗金鏝	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	不燃ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,500	○ （面）	脱衣棚：集成材造り付け　ＵＣ 壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 不燃ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	ＵＢ	C	介護ユニットバス（2020）										建築工事
													仕様は別紙明細による
	多目的トイレ	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0（抗菌）　下地：モルタル塗金鏝	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,500	○ （ピクト面）	便器、洗面器、可動手摺：設備工事 巾木取合部：アルミコ型ジョイナー掛、壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	トイレ	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0（抗菌）　下地：モルタル塗金鏝	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,500	○ （ピクト面）	便器、洗面器：設備工事 巾木取合部：アルミコ型ジョイナー掛、壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	洗濯乾燥室	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0（抗菌）　下地：モルタル塗金鏝	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)5.0 目透し張り　ＥＰ－Ｇ	2,445	○ （面）	壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
							ＬＧＳ						
	収納		長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0（抗菌）　下地：モルタル塗金鏝	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)6.0（塩ビジョイナー掛け）　ＥＰ－Ｇ　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)5.0 目透し張り　ＥＰ－Ｇ	2,500		中棚：ラワン合板Ｔ１(ｱ)12　ＳＯＰ　２段
	物入	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：モルタル塗金鏝	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)6.0（塩ビジョイナー掛け）　ＥＰ－Ｇ　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)5.0 目透し張り　ＥＰ－Ｇ	2,500		中棚：ラワン合板Ｔ１(ｱ)12　ＳＯＰ　２段
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ケイカル板(ｱ)6.0（塩ビジョイナー掛け）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
2階住居部分	玄関	C	長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：モルタル塗金鏝	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	**ビニルクロス貼**　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,620		壁手摺：木製（縦型Ｌ＝600）、上り框：タモ集成材　120×105　塗装品
								※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	ＬＤＫ		天然木複合フローリング(ｱ)14　下地：構造用合板T1(ｱ)12、針葉樹 （北海道ﾊﾟｰｹｯﾄ工業㈱ｷｬﾝﾊﾟｽﾗｲﾄ 釘打ちﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：パーティクルボード（ｱ）20 下地：乾式遮音二重床ｼｽﾃﾑ（万協ﾌﾛｱｰYPGﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：コンクリート直均し仕上(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9	60	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	岩綿吸音板(ｱ)9　下地：ＰＢ(ｱ)9.5 掘込天井：ビニルクロス貼　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,445		流し台前カウンター：タモ集成材(ｱ)30　ＵＣ　　ＴＶ棚：タモ集成材(ｱ)36　ＵＣ 窓カーテン（一部） 流し台、壁付収納　Ｄ＝450：建築工事
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	廊下		天然木複合フローリング(ｱ)14　下地：構造用合板T1(ｱ)12、針葉樹 （北海道ﾊﾟｰｹｯﾄ工業㈱ｷｬﾝﾊﾟｽﾗｲﾄ 釘打ちﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：パーティクルボード（ｱ）20 下地：乾式遮音二重床ｼｽﾃﾑ（万協ﾌﾛｱｰYPGﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：コンクリート直均し仕上(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9	60	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	岩綿吸音板(ｱ)9　下地：ＰＢ(ｱ)9.5	2,445		
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	世話人控室		天然木複合フローリング(ｱ)14　下地：構造用合板T1(ｱ)12、針葉樹 （北海道ﾊﾟｰｹｯﾄ工業㈱ｷｬﾝﾊﾟｽﾗｲﾄ 釘打ちﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：パーティクルボード（ｱ）20 下地：乾式遮音二重床ｼｽﾃﾑ（万協ﾌﾛｱｰYPGﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：コンクリート直均し仕上(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9	60	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　外壁面下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5 内壁面下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,445	○ （面）	窓カーテン（一部ロールスクリーン）
								※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	居室 （1～7）		天然木複合フローリング(ｱ)14　下地：構造用合板T1(ｱ)12、針葉樹 （北海道ﾊﾟｰｹｯﾄ工業㈱ｷｬﾝﾊﾟｽﾗｲﾄ 釘打ちﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：パーティクルボード（ｱ）20 下地：乾式遮音二重床ｼｽﾃﾑ（万協ﾌﾛｱｰYPGﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：コンクリート直均し仕上(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9	60	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　外壁面下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5 内壁面下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,445	○ （面）	天井スイングフック：ステンレス製（スガツネＵＣ-０４８同等品）２ヶ所／室　　窓カーテン 壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
								※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	同上収納		天然木複合フローリング(ｱ)14　下地：構造用合板T1(ｱ)12、針葉樹 （北海道ﾊﾟｰｹｯﾄ工業㈱ｷｬﾝﾊﾟｽﾗｲﾄ 釘打ちﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：パーティクルボード（ｱ）20 下地：乾式遮音二重床ｼｽﾃﾑ（万協ﾌﾛｱｰYPGﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：コンクリート直均し仕上(木鏝1回)	ＬＧＳ	木製化粧巾木(ｱ)9	60	ＬＧＳ	ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,400		中棚、仕切り板、枕棚　　洋服掛けＩＣＳパイプ：３２φ（首長ソケット共）
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	脱衣室		長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0　下地：構造用合板T1(ｱ)9、針葉樹 下地：ラワン合板T2(ｱ)2.5　下地：パーティクルボード(ｱ)20 下地：乾式遮音二重床ｼｽﾃﾑ（万協ﾌﾛｱｰYPGﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：コンクリート直均し仕上(木鏝1回)	ＬＧＳ	ビニール巾木	60	ＬＧＳ	不燃ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,500	○ （面）	脱衣棚：集成材造り付け　ＵＣ 壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 不燃ビニルクロス貼　下地：ＪＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	ＵＢ		ユニットバス（1616）										建築工事
													仕様は別紙明細による
	トイレ		長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0（抗菌）　下地：構造用合板T1(ｱ)9、針葉樹 下地：ラワン合板T2(ｱ)2.5　下地：パーティクルボード(ｱ)20 下地：乾式遮音二重床ｼｽﾃﾑ（万協ﾌﾛｱｰYPGﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：コンクリート直均し仕上(木鏝1回)	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	2,500	○ （ピクト面）	便器、洗面器：設備工事 巾木取合部：アルミコ型ジョイナー掛、壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					
	洗濯乾燥室		長尺ビニル床シート貼(ｱ)2.0（抗菌）　下地：構造用合板T1(ｱ)9、針葉樹 下地：ラワン合板T2(ｱ)2.5　下地：パーティクルボード(ｱ)20 下地：乾式遮音二重床ｼｽﾃﾑ（万協ﾌﾛｱｰYPGﾀｲﾌﾟ同等品）　下地：コンクリート直均し仕上(木鏝1回)	ＬＧＳ	床シート立上げ	100	ＬＧＳ	化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5	ＬＧＳ	ケイカル板(ｱ)5.0 目透し張り　ＥＰ－Ｇ	2,445	○ （面）	壁内：グラスウール充填 16Kg品(ｱ)100
							ＬＧＳ	※防火上主要な間仕切面 化粧ケイカル板(ｱ)6.0（目地シール工法）　下地：防水ＰＢ(ｱ)12.5+ＰＢ(ｱ)12.5					

国土交通大臣認定防火材料

不燃材料

略名称	一般名称	認定番号
不燃ＰＢ(ｱ)9.5	不燃石膏ボード　(ｱ)9.5	ＮＭ－０４４１
ＰＢ(ｱ)12.5	石膏ボード　(ｱ)12.5	ＮＭ－８６１９
ＪＰＢ(ｱ)12.5	石膏ボード　(ｱ)12.5	ＮＭ－８６１９
防水ＰＢ(ｱ)12.5	シージング石膏ボード(ｱ)12.5	ＮＭ－９６３９
化粧ケイカル板(ｱ)6.0	化粧ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0	ＮＭ－３０７３
ケイカル板(ｱ)6.0	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0	ＮＭ－２７７３
岩綿吸音板(ｱ)9、15	岩綿吸音板(ｱ)9mm,15mm×300×600	ＮＭ－８５９９
不燃化粧シート貼(ｱ)6	化粧ｼｰﾄ貼火山性ガラス質複層板(ｱ)6	ＮＭ－２９９７
不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	化粧石膏ボード(ｱ)9.5	ＮＭ－１８６４

準不燃材料

略名称	一般名称	認定番号
防水ＰＢ(ｱ)9.5	シージング石膏ボード(ｱ)9.5	ＱＭ－９８２６
防水ＰＢ(ｱ)12.5	シージング石膏ボード(ｱ)12.5	ＱＭ－９８２６
半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5	化粧石膏ボード(ｱ)9.5	ＱＭ－９８２４

壁紙準不燃材料

仕上材	下地材	認定番号
ビニールクロス貼	ＰＢ(ｱ)9.5	ＱＭ－０１５６
ビニールクロス貼	ＰＢ(ｱ)12.5	ＱＭ－０１８０
ビニールクロス貼	ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＱＭ－０１８０
ビニールクロス貼	ＪＰＢ(ｱ)12.5	ＮＭ－０３９１

塗装

略号	塗装種別	略号	塗装種別
EP	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗	UC	ポリウレタン樹脂ワニス塗
EP-G	つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗	DP	耐候性塗料塗
SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗	OSUC	オイルステイン樹脂ワニス塗

準耐火仕様（防火、準不燃）

1、外壁
　ラムダサイディング(ｱ)20（金具留め工法）、下地ＰＢ(ｱ)12.5
　防火構造　ＰＣ030ＮＥ-0045
2、防火上主要な間仕切
　ＰＢ(ｱ)12.5、二重張　（国交省告示壁60分準耐火第1380号）
3、屋根下地
　耐火野地板：（ニチハ㈱センチュリー耐火野地板(ｱ)18）
　（準不燃 ＱＭ-9706）

【 塗装認定番号 】
不燃認定番号　：ＮＭ-8585
準不燃認定番号：ＱＭ-9816
難燃認定番号　：ＲＭ-9364

下地略記号

C	コンクリート下地
ＬＧＳ	軽量鉄骨下地

※特記事項
1、シックハウス対策：壁紙・接着剤・塗料　その他仕上げ材は、“Ｆ☆☆☆”とする
2、特記なき壁装材料は、防火性能 ＱＭ 以上とする
3、特記なき塗装仕上は、下地同等防火性能品を使用する ※塗装略号欄内認定番号同等使用
4、防火上主要な間仕切り壁は屋根下まで張り上げる

ＬＧＳ下地仕様
外壁側壁下地：ＬＧＳ50 @303　　外部天井下地：ＬＧＳ25（野縁ピッチは仕上材による）
間仕切壁下地：ＬＧＳ100 @455（ＰＢ二重張部分）　　内部天井下地：ＬＧＳ19（野縁ピッチは仕上材による）
間仕切壁下地：ＬＧＳ100 @303（ＰＢ張部分）

シーリング凡例

	５×５　ＭＳ－２		１５×１０　ＭＳ－２
	６×６　ＭＳ－２		２０×１０　ＭＳ－２
	１０×７　ＭＳ－２		

〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社　熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337　　FAX：0256-33-4166

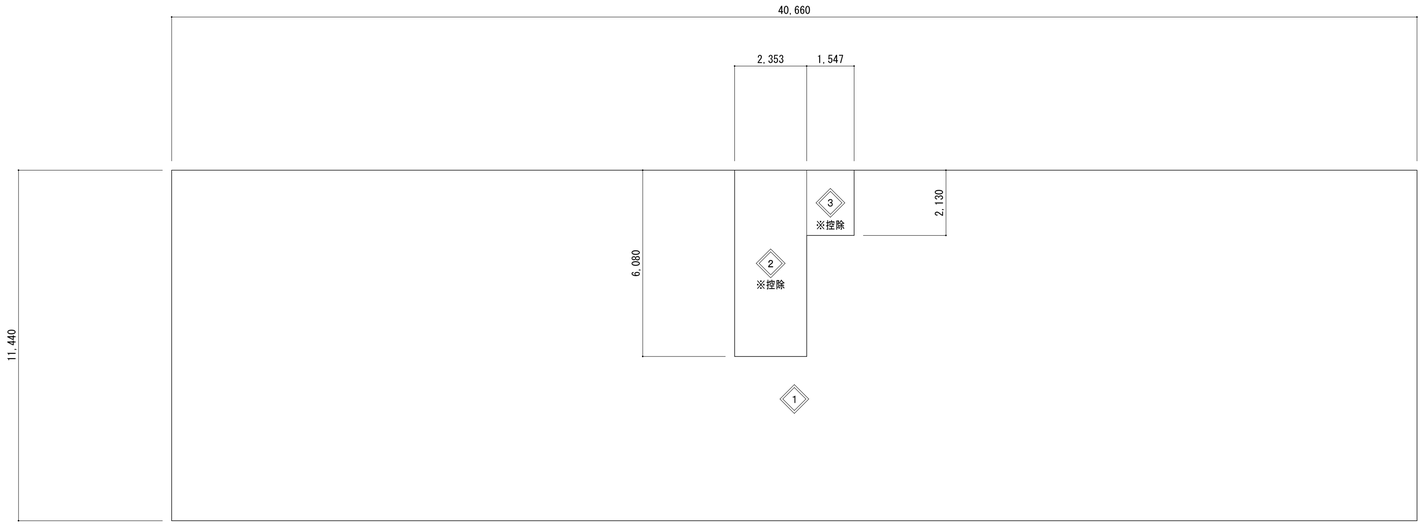
一級建築士事務所　新潟県知事　登録（　）第197号
一級建築士　大臣登録　第151507号　安達俊明

設計	検図	承諾	設計年月日
本間	丸山	安達	平成２７年０３月

図面サイズ	縮尺
Ａ１	－
Ａ３	－

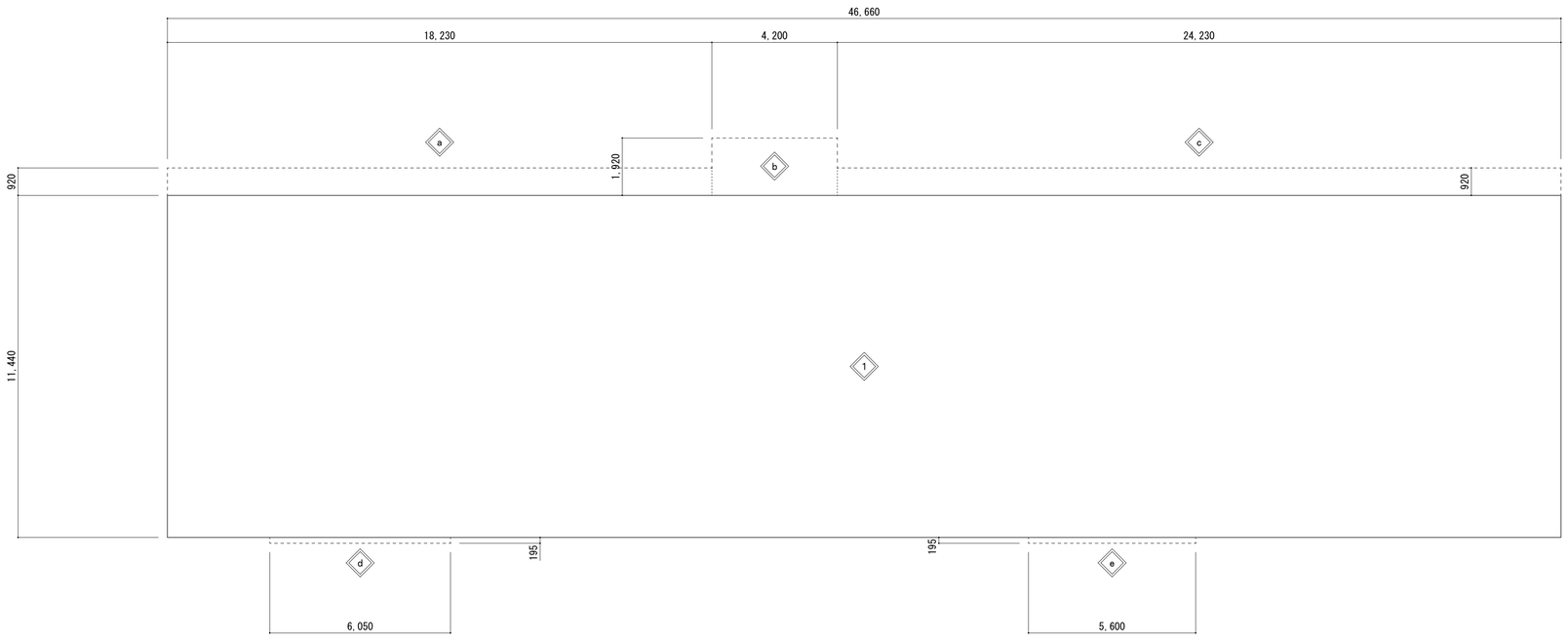
工事名称	障がい者居住支援拠点施設建設　建築本体工事
図面名称	仕上表（２）

種別	図面番号
AA	08



２階床面積求積図　S=1/100

２階床面積算定表					
1	40.660	×	11.440	＝	465.1504
2	-2.353	×	6.080	＝	-14.3062
3	-1.547	×	2.130	＝	-3.2951
	小　計				447.5491
２階床面積					447.55㎡



１階床面積・建築面積求積図　S=1/100

１階床面積算定表					
1	46.660	×	11.440	＝	533.7904
	小　計				533.7904
１階床面積					533.79㎡

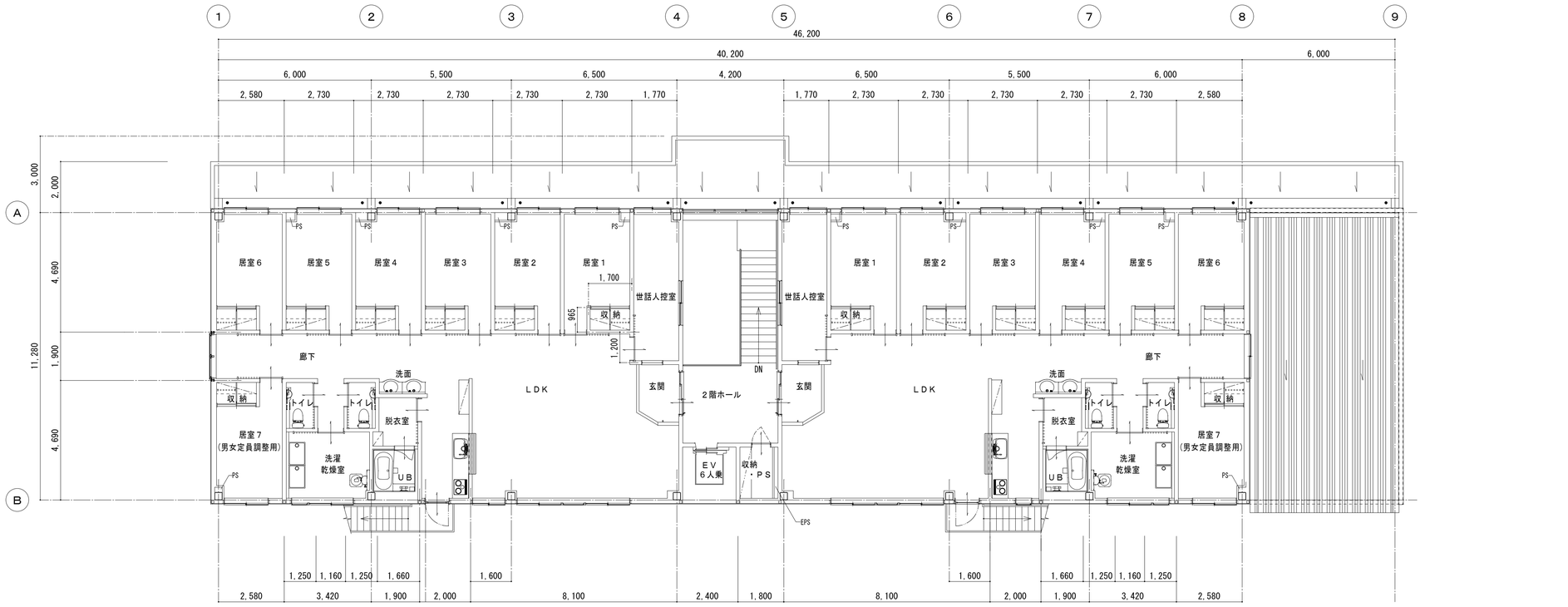
建築面積算定表					
	１階床面積ヨリ				533.7904
a	18.230	×	0.920	＝	16.7716
b	4.200	×	1.920	＝	8.0640
c	24.230	×	0.920	＝	22.2916
d	6.050	×	0.195	＝	1.1798
e	5.600	×	0.195	＝	1.092
	小　計				583.1894
建築面積					583.19㎡

面積表	
建 築 面 積	583.19㎡
１階床面積	533.79㎡
２階床面積	447.55㎡
延 床 面 積	981.34㎡

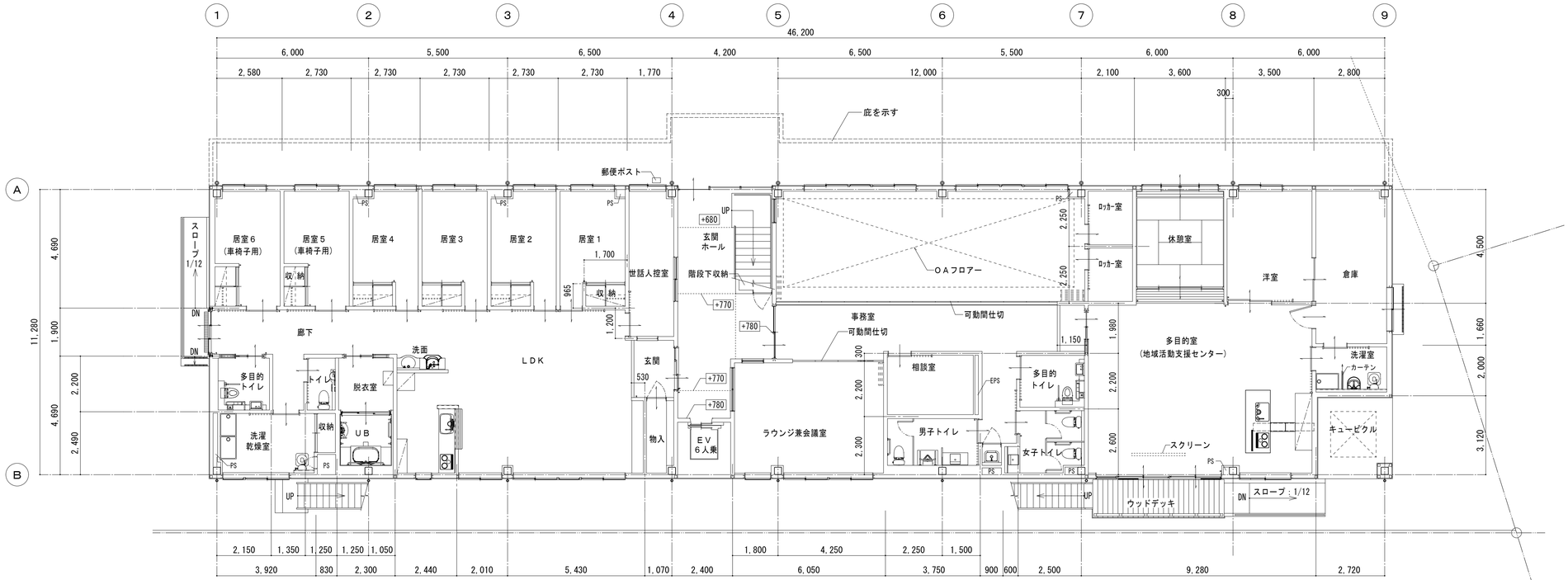
〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社　熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337　FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所
新潟県知事　登録（　）第197号
一級建築士
大臣登録　第151507号　安達俊明

設計	検図	承諾	設計年月日	図面サイズ	縮尺	工事名称	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	種別	図面番号
本間	丸山	安達	平成２７年０３月	A１	S＝１／１００			AA	09
				A３	S＝１／２００	図面名称	建物面積求積図、面積算定表		



2階 平面図　　S=1/100



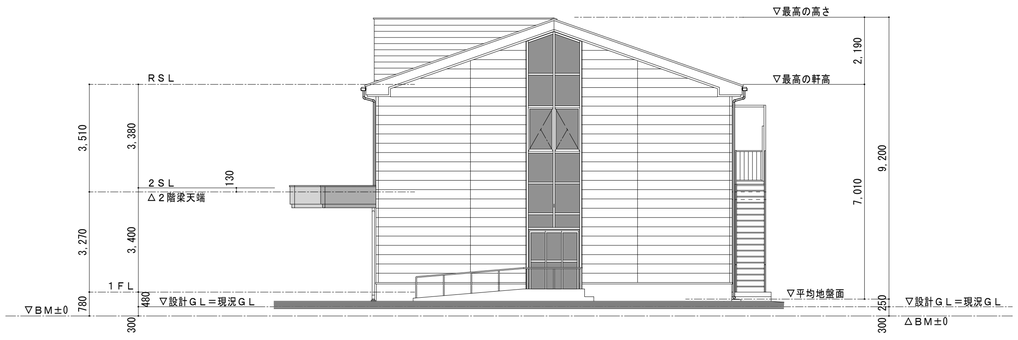
1階 平面図　　S=1/100

〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337　FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所
新潟県知事　登録（　）第197号
一級建築士
大臣登録　第151507号　安 達 俊 明

設計	検図	承諾	設計年月日	図面サイズ	縮尺	工事名称	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	種別	図面番号
本間	丸山	安達	平成２７年０３月	A1	S=1／100			AA	10
				A3	S=1／200	図面名称	１階、２階平面図		

北面 立面図　　S＝1/100



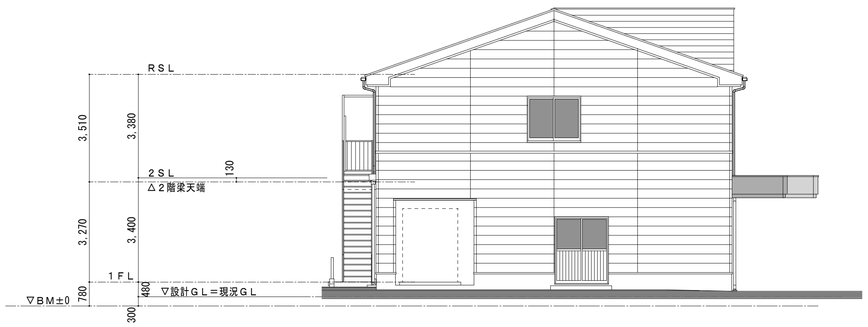
西面 立面図　　S＝1/100

〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337　FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所
新潟県知事　登録（　）第197号
一級建築士
大臣登録　第151507号　安 達 俊 明

設計	検図	承諾	設計年月日	図面サイズ	縮尺	工事名称	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	種別	図面番号
本間	丸山	安達	平成２７年０３月	A１	S＝1／100			AA	11
				A３	S＝1／200	図面名称	立面図（１）		

南面 立面図　　S＝1/100

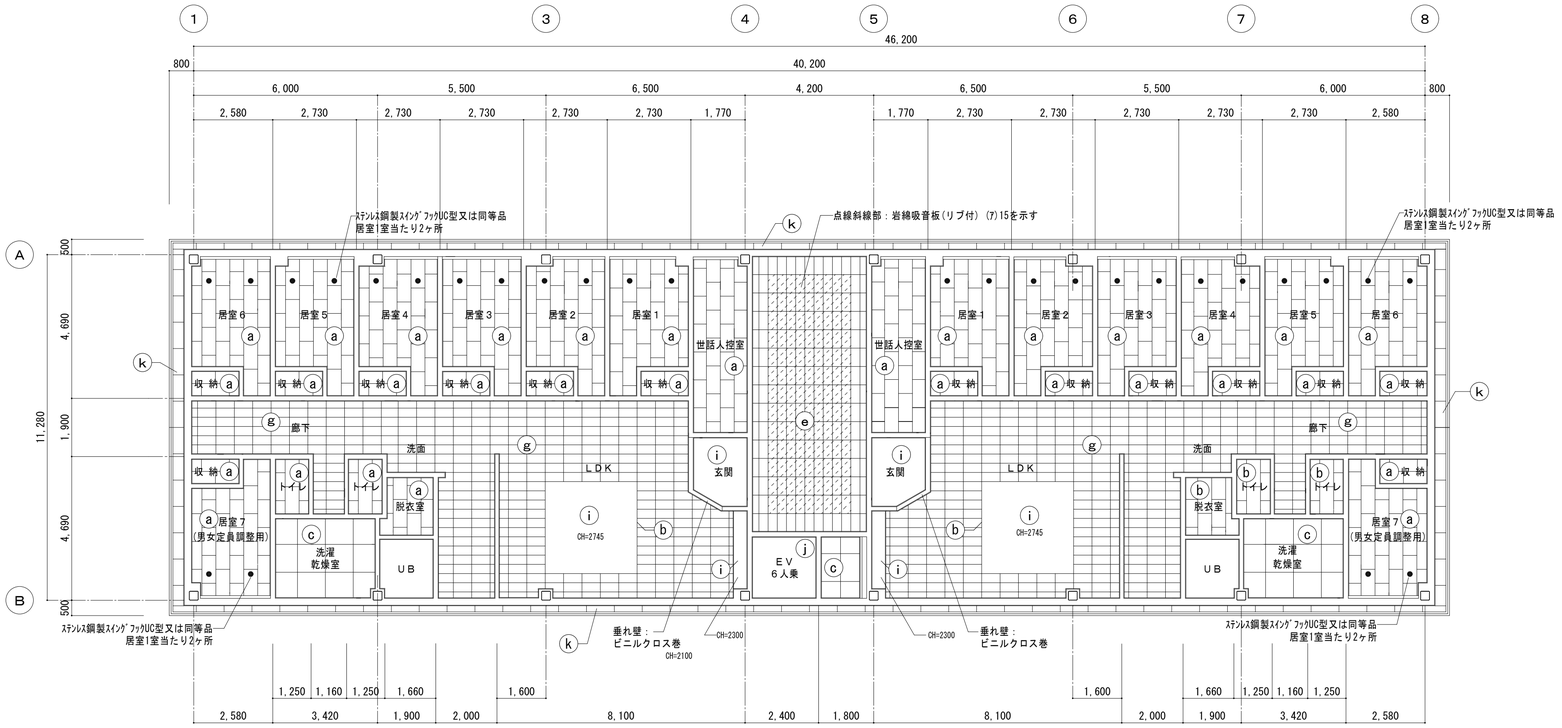


東面 立面図　　S＝1/100

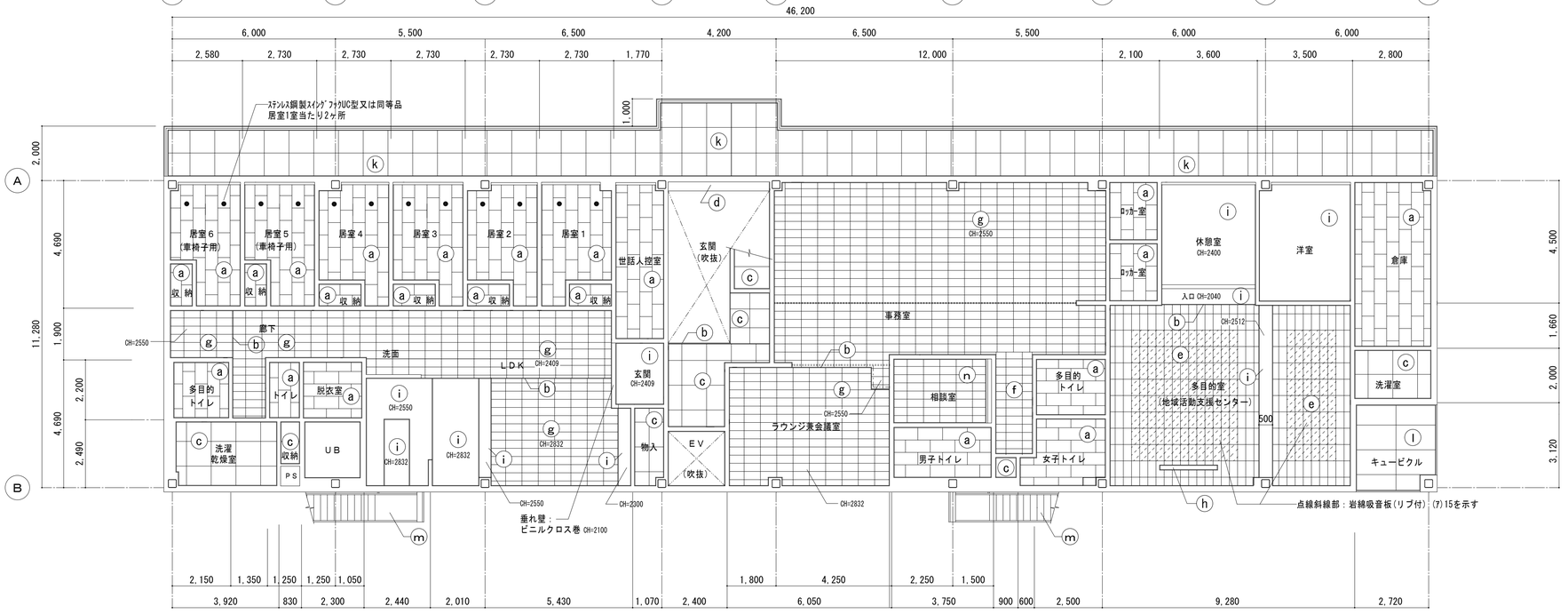
〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337　FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所
新潟県知事　登録（　）第197号
一級建築士
大臣登録　第151507号　安 達 俊 明

設計	検図	承諾	設計年月日	図面サイズ	縮尺	工事名称	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	種別	図面番号
本間	丸山	安達	平成２７年０３月	A１	S＝1／100			AA	12
				A３	S＝1／200	図面名称	立面図（２）		



2階 天井伏図 S=1/100



1階 天井伏図 S=1/100

凡 例

仕 上

a	不燃半有孔化粧ＰＢ(ｱ)9.5
b	塩ビ製垂れ壁見切
c	ケイ酸カルシウム板(ｱ)5.0 目透し張 (910×910) EP-G塗
d	複層塗材Ｅ ローラー塗 下地：ケイカル板(ｱ)6.0 目透し張り
e	岩綿吸音板(リブ付) (ｱ)15,周囲岩綿吸音板(ｱ)9 下地：ＰＢ(ｱ)9.5
f	段裏現し(SOP)
g	岩綿吸音板(ｱ)9 下地：ＰＢ(ｱ)9.5
h	アルミスクリーンボックス W150×H150、L=2,100
i	ビニールクロス貼 ＰＢ(ｱ)9.5
j	屋根ロックウール吹付け(下地耐火野地板)現し
k	ケイ酸カルシウム板(ｱ)6.0 目透し張 (910×910) ＥＰ塗
l	ケイ酸カルシウム板(ｱ)12.0 ＥＰ塗
m	耐候性塗料塗り（ＤＰ） 下地：溶融亜鉛メッキ鉄鋼面
n	岩綿吸音板(ｱ)9 下地：不燃ＰＢ(ｱ)9.5

共通事項

・廻縁は、塩ビ製突付廻縁とする。
・各居室天井には、ｽﾃﾝﾚｽ鋼製ｽｲﾝｸﾞﾌｯｸUC型又は同等品を2ヶ所取付。(取付位置は施工時打ち合わせによる)
・特記以外の天井高さは、仕上表による

〒955-0081 新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337 FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所
新潟県知事 登録（ ）第197号
一級建築士
大臣登録 第151507号 安 達 俊 明

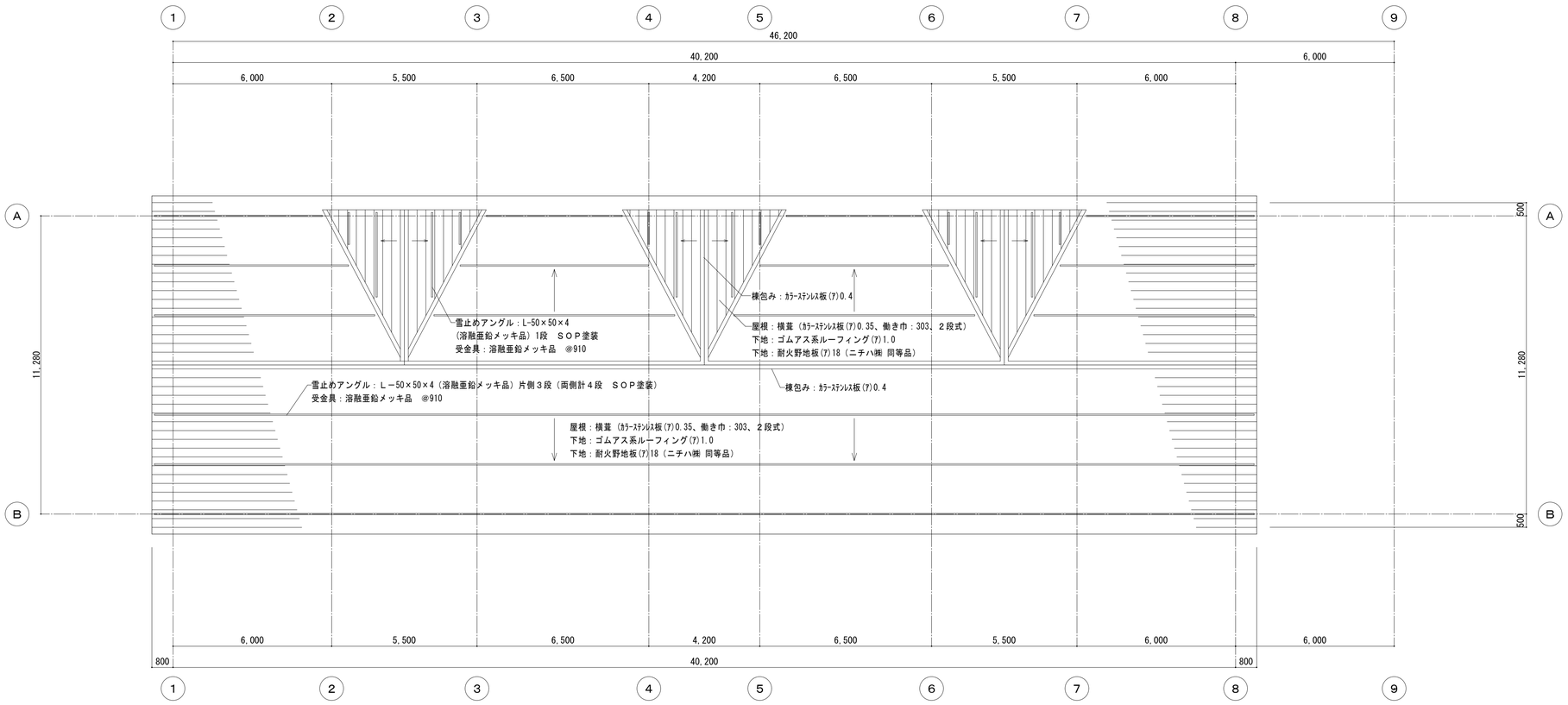
設計	検図	承諾
榎並	丸山	安達

設計年月日：平成２７年０３月

図面サイズ	縮尺
Ａ１	Ｓ＝１／１００
Ａ３	Ｓ＝１／２００

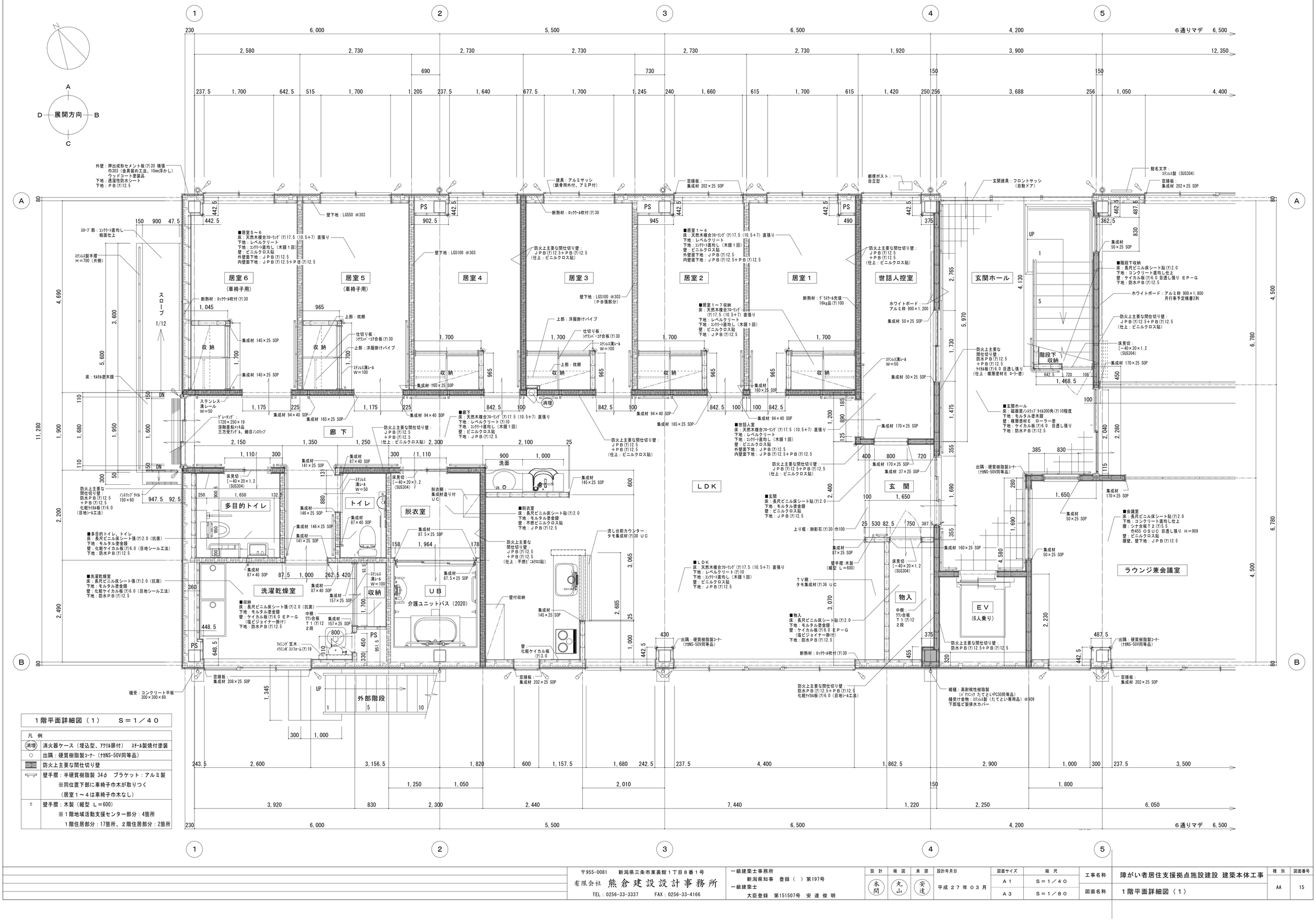
工事名称：障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事
図面名称：１階、２階天井伏図

種別	図面番号
AA	13



屋根伏図　　S＝1/100

	〒955-0081　新潟県三条市東裏館１丁目８番１号 有限会社 熊倉建設設計事務所 TEL：0256-33-3337　FAX：0256-33-4166	一級建築士事務所 新潟県知事　登録（　）第197号 一級建築士 大臣登録　第151507号　安 達 俊 明	設 計	検 図	承 諾	設計年月日	図面サイズ	縮 尺	工事名称	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	種 別	図面番号
			横並	丸山	安達	平成２７年０３月	Ａ１	Ｓ＝１／１００			AA	14
							Ａ３	Ｓ＝１／２００	図面名称	屋根伏図		



１階平面詳細図（１） Ｓ＝１／４０

凡例

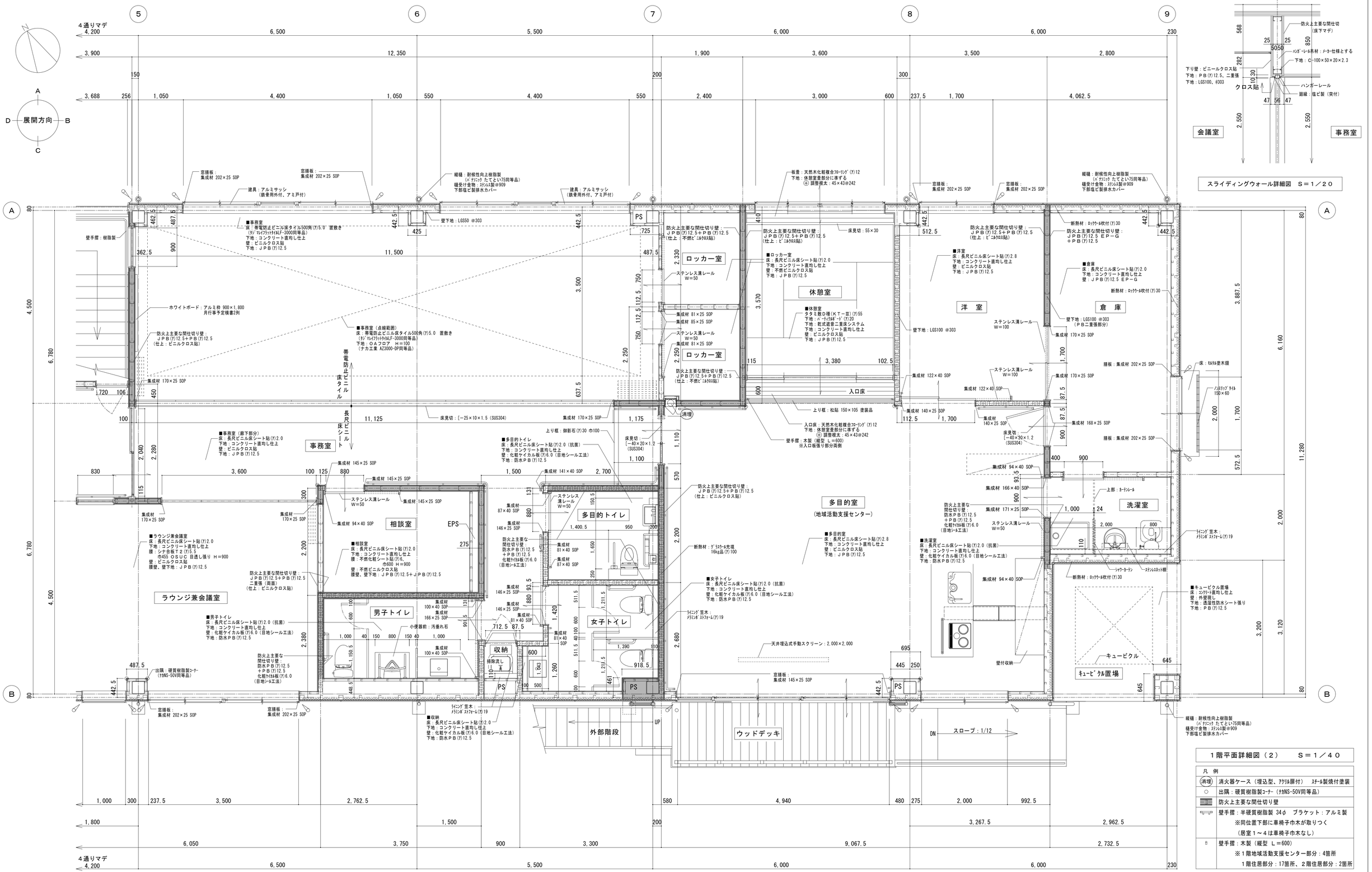
消埋	消火器ケース（埋込型、ｱｸﾘﾙ扉付） ｽﾁｰﾙ製焼付塗装
○	出隅：硬質樹脂製ｺｰﾅｰ（ｶﾅNS-50V同等品）
	防火上主要な間仕切り壁
	壁手摺：半硬質樹脂製 34φ ブラケット：アルミ製 ※同位置下部に車椅子巾木が取りつく （居室１～４は車椅子巾木なし）
縦	壁手摺：木製（縦型 Ｌ＝600） ※１階地域活動支援センター部分：4箇所 １階住居部分：17箇所、２階住居部分：2箇所

〒955-0081 新潟県三条市東裏館１丁目８番１号
有限会社 熊倉建設設計事務所
TEL：0256-33-3337 FAX：0256-33-4166

一級建築士事務所 新潟県知事 登録（ ）第197号
一級建築士 大臣登録 第151507号 安達俊明

設計	検図	承諾	設計年月日	図面サイズ	縮尺
本間	丸山	安達	平成２７年０３月	Ａ１	Ｓ＝１／４０
				Ａ３	Ｓ＝１／８０

工事名称	障がい者居住支援拠点施設建設 建築本体工事	種別	図面番号
図面名称	１階平面詳細図（１）	AA	15


4通りマデ
4,200
6,500
5,500
6,000
6,000
230
3,900
12,350
1,900
3,600
3,500
2,800
3,688
256
1,050
4,400
1,050
550
4,400
550
2,400
3,000
600
237.5
1,700
4,062.5
150
200
300
展開方向
A
B
C
D
5
6
7
8
9
窓膳板：集成材 202×25 SOP
建具：アルミサッシ（鉄骨用外付、アミ戸付）
縦樋：耐候性向上樹脂製（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ たてとい75同等品）
縦受け金物：ｽﾃﾝﾚｽ製※909
下部塩ビ製排水カバー
壁下地：LGS50 ※303
■事務室
床：帯電防止ビニル床タイル500角(ｱ)5.0 置敷き
（ﾀｽﾞﾓﾌﾚｱﾌﾗｯﾄﾀｲﾙALF-3000同等品）
下地：コンクリート直均し仕上
壁：ビニルクロス貼
下地：ＪＰＢ(ア)12.5
壁手摺：樹脂製
ホワイトボード：アルミ枠 900×1,800
月行事予定横書2列
防火上主要な間仕切り壁：
ＪＰＢ(ア)12.5＋ＰＢ(ア)12.5
（仕上：ビニルクロス貼）
■事務室（点線範囲）
床：帯電防止ビニル床タイル500角(ｱ)5.0 置敷き
（ﾀｽﾞﾓﾌﾚｱﾌﾗｯﾄﾀｲﾙALF-3000同等品）
下地：ＯＡフロア Ｈ＝100
（ナカ工業 AZ3000-DP同等品）
帯電防止ビニル床タイル
集成材 170×25 SOP
720
106
450
100
11,125
長尺ビニル床シート
床見切：[−25×10×1.5（SUS304）
■事務室（扉下部分）
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.0
下地：コンクリート直均し仕上
壁：ビニルクロス貼
下地：ＪＰＢ(ア)12.5
事務室
2,040
2,280
830
3,600
100
125
880
集成材 145×25 SOP
ステンレス溝レール W＝50
相談室
EPS
275
300
2,200
■ラウンジ兼会議室
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.0
下地：コンクリート直均し仕上
腰：シナ合板Ｔ2（ｱ)5.5
巾455 OSUC 目透し張り Ｈ＝900
壁：ビニルクロス貼
腰壁、壁下地：ＪＰＢ(ア)12.5
防火上主要な間仕切り壁：
ＪＰＢ(ア)12.5＋ＰＢ(ア)12.5
二重張（両面）
（仕上：ビニルクロス貼）
ラウンジ兼会議室
6,780
4,500
■相談室
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.0
下地：コンクリート直均し仕上
腰：不燃化粧ケト貼(ア)6、
巾600 Ｈ＝900
壁：不燃ビニルクロス貼
腰壁、壁下地：ＪＰＢ(ア)12.5＋ＪＰＢ(ア)12.5
■男子トイレ
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.0（抗菌）
下地：コンクリート直均し仕上
壁：化粧ケイカル板(ア)6.0（目地シール工法）
下地：防水ＰＢ(ア)12.5
男子トイレ
2,380
小便器前：汚垂れ石
1,000
40
150
800
150
40
1,000
防火上主要な
間仕切り壁：
防水ＰＢ(ア)12.5
＋ＰＢ(ア)12.5
化粧ｹｲｶﾙ板(ア)6.0
（目地ｼｰﾙ工法）
487.5
出隅：硬質樹脂製ｺｰﾅｰ
（ｲﾀﾝNS-50V同等品）
442.5
窓膳板：集成材 202×25 SOP
窓膳板：集成材 202×25 SOP
■収納
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.0
下地：コンクリート直均し仕上
壁：化粧ケイカル板(ア)6.0（目地シール工法）
下地：防水ＰＢ(ア)12.5
ﾗｲﾝｸﾞ笠木：
ﾒﾀﾗﾐﾈｰﾄｽﾄｫｰﾑ(ア)19
収納
棚板流し
712.5
87.5
448.5
PS
集成材 145×25 SOP
集成材 94×40 SOP
集成材 170×25 SOP
集成材 87×40 SOP
集成材 146×25 SOP
集成材 100×40 SOP
集成材 166×25 SOP
集成材 81×40 SOP
■多目的トイレ
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.0（抗菌）
下地：コンクリート直均し仕上
壁：化粧ケイカル板(ア)6.0（目地シール工法）
下地：防水ＰＢ(ア)12.5
多目的トイレ
1,500
集成材 141×40 SOP
2,700
1,400.5
950
200
150
防火上主要な
間仕切り壁：
防水ＰＢ(ア)12.5
＋ＰＢ(ア)12.5
化粧ｹｲｶﾙ板(ア)6.0
（目地ｼｰﾙ工法）
1,650
250
1,420
1,211.5
女子トイレ
1,390
110
918.5
1,211.5
461
PS
ﾗｲﾝｸﾞ笠木：
ﾒﾀﾗﾐﾈｰﾄｽﾄｫｰﾑ(ア)19
■女子トイレ
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.0（抗菌）
下地：コンクリート直均し仕上
壁：化粧ケイカル板(ア)6.0（目地シール工法）
下地：防水ＰＢ(ア)12.5
天井埋込式手動スクリーン：2,000×2,000
窓膳板：集成材 145×25 SOP
695
445
250
442.5
PS
外部階段
UP
ウッドデッキ
DN
スロープ：1/12
1,000
300
237.5
3,500
2,762.5
580
4,940
480
275
2,000
992.5
1,800
1,500
200
3,267.5
2,962.5
6,050
3,750
900
3,300
9,067.5
2,732.5
4通りマデ
4,200
6,500
5,500
6,000
6,000
230
防火上主要な間仕切り壁：
ＪＰＢ(ア)12.5＋ＰＢ(ア)12.5
（仕上：ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼）
ロッカー室
ステンレス溝レール W＝50
集成材 81×25 SOP
集成材 85×25 SOP
集成材 81×25 SOP
ロッカー室
防火上主要な間仕切り壁：
ＪＰＢ(ア)12.5＋ＰＢ(ア)12.5
（仕上：不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼）
消埋
床見切：55×30
■ロッカー室
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.0
下地：コンクリート直均し仕上
壁：不燃ビニルクロス貼
下地：ＪＰＢ(ア)12.5
休憩室
■休憩室
タタミ敷Ｄ種（ＫＴ－Ⅲ）(ア)55
下地：ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ(ア)20
下地：乾式遮音二重床システム
下地：コンクリート直均し仕上
壁：ビニルクロス貼
下地：ＪＰＢ(ア)12.5
3,570
115
3,380
102.5
600
入口床
集成材 122×40 SOP
集成材 140×25 SOP
112.5
1,700
上り框：松貼 150×105 塗装品
入口床：天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ア)12
下地：休憩室畳部分に準ずる
（＋）調整根太：45×43@242
壁手摺：木製（縦型 L＝600）
※入口板張り部分両側
板畳：天然木化粧複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ(ア)12
下地：休憩室畳部分に準ずる
（＋）調整根太：45×43@242
窓膳板：集成材 202×25 SOP
窓膳板：集成材 202×25 SOP
縦樋：耐候性向上樹脂製（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ たてとい75同等品）
縦受け金物：ｽﾃﾝﾚｽ製※909
下部塩ビ製排水カバー
442.5
512.5
防火上主要な間仕切り壁：
ＪＰＢ(ア)12.5＋ＰＢ(ア)12.5
（仕上：ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ貼）
■洋室
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.8
下地：コンクリート直均し仕上
壁：ビニルクロス貼
下地：ＪＰＢ(ア)12.5
洋　室
壁下地：LGS100 ※303
ステンレス溝レール W＝100
集成材 122×40 SOP
集成材 140×25 SOP
1,700
床見切：
[−40×20×1.2
（SUS304）
断熱材：ﾛｯｸｳｰﾙ吹付(ア)30
防火上主要な間仕切り壁：
ＪＰＢ(ア)12.5 ＥＰ－Ｇ
＋ＰＢ(ア)12.5
■倉庫
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.0
下地：コンクリート直均し仕上
壁：ＪＰＢ(ア)12.5 ＥＰ－Ｇ
断熱材：ﾛｯｸｳｰﾙ吹付(ア)30
倉　庫
壁下地：LGS100 ※303
（ＰＢ二重張部分）
ステンレス溝レール W＝100
集成材 170×25 SOP
集成材 170×25 SOP
集成材 122×40 SOP
集成材 140×25 SOP
集成材 168×25 SOP
87.5
87.5
900
400
900
集成材 94×40 SOP
集成材 166×40 SOP
集成材 171×25 SOP
1,000
24
2,000
800
洗濯室
上部：ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
■洗濯室
床：長尺ビニル床シート貼(ア)2.0（抗菌）
下地：コンクリート直均し仕上
壁：化粧ケイカル板(ア)6.0（目地シール工法）
下地：防水ＰＢ(ア)12.5
防火上主要な
間仕切り壁：
防水ＰＢ(ア)12.5
＋ＰＢ(ア)12.5
化粧ｹｲｶﾙ板(ア)6.0
（目地ｼｰﾙ工法）
ステンレス溝レール W＝50
集成材 94×40 SOP
ｼｬｳﾜｰｶｰﾃﾝ
ｽﾃﾝﾚｽﾈｯﾄ棚
断熱材：ﾛｯｸｳｰﾙ吹付(ア)30
ﾗｲﾝｸﾞ笠木：
ﾒﾀﾗﾐﾈｰﾄｽﾄｫｰﾑ(ア)19
■キュービクル置場
床：ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上
壁：外壁現し
下地：透湿性防水シート張り
下地：ＰＢ(ア)12.5
キュービクル
キュービクル置場
645
壁付収納
縦樋：耐候性向上樹脂製（ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ たてとい75同等品）
縦受け金物：ｽﾃﾝﾚｽ製※909
下部塩ビ製排水カバー
集成材 145×25 SOP
集成材 145×25 SOP
集成材 94×40 SOP
集成材 170×25 SOP
集成材 87×40 SOP
集成材 146×25 SOP
集成材 81×40 SOP
集成材 146×25 SOP
集成材 87×40 SOP
集成材 100×40 SOP
集成材 166×25 SOP
集成材 81×40 SOP
集成材 81×25 SOP
集成材 81×40 SOP
集成材 100×40 SOP
集成材 81×40 SOP
集成材 87×40 SOP
集成材 146×25 SOP
集成材 81×40 SOP
集成材 146×25 SOP
集成材 81×40 SOP
集成材 87×40 SOP
集成材 166